

平成 21 年 度 当 初 予 算 資 料

1	会計別予算	P	1
2	一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3	歳入の主な増減	P	3
4	一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5	歳出の主な増減	P	5
6	歳出予算款別財源内訳表	P	6
7	歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8	一般会計当初予算の推移	P	10
9	税収入予算資料	P	12
10	市税等の推移（決算ベース）	P	14
11	地方債年度末現在高の推移	P	16
12	一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13	各部局当初予算説明資料	P	19
	経 営 企 画 部	P	19
	総 務 部	P	22
	税 務 理 財 部	P	27
	市 民 文 化 部	P	34
	楠 総 合 支 所	P	48
	福 祉 部	P	50
	健 康 部	P	57
	商 工 農 水 部	P	67
	環 境 部	P	79
	都 市 整 備 部	P	85
	会 計 管 理 室	P	97
	議 会 事 務 局	P	98
	監 査 事 務 局	P	99
	教 育 委 員 会	P	100
	消 防 本 部	P	113
	上 下 水 道 局	P	118
	市 立 四 日 市 病 院	P	124
14	防災対策事業について	P	128
15	バリアフリー化事業について	P	132
16	災害時要援護者対策事業について	P	133
17	子育て関係事業について	P	134

平成 21 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

区 分		平成21年度	平成20年度	差引増減額	(A)
会 計 名		予算額(A)	予算額(A)	(A) - (B)	— × 100(%)
					(B)
一 般 会 計		97,382,000	99,848,000	△ 2,466,000	97.5
特 別 会 計	競 輪 事 業	17,923,900	17,856,600	67,300	100.4
	国 民 健 康 保 険	28,579,000	26,862,000	1,717,000	106.4
	食肉センター食肉市場	510,300	575,500	△ 65,200	88.7
	土 地 区 画 整 理 事 業	903,100	906,000	△ 2,900	99.7
	交 通 災 害 共 済 事 業	0	96,900	△ 96,900	皆減
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	57,600	31,400	26,200	183.4
	老 人 保 健 医 療	202,500	2,148,600	△ 1,946,100	9.4
	公 共 用 地 取 得 事 業	1,340,742	878,173	462,569	152.7
	農 業 集 落 排 水 事 業	456,600	317,900	138,700	143.6
	介 護 保 険	15,540,700	14,718,700	822,000	105.6
	後 期 高 齢 者 医 療	4,102,600	3,922,400	180,200	104.6
	計	69,617,042	68,314,173	1,302,869	101.9
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	11,282,118	12,756,136	△ 1,474,018	88.4
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	18,495,051	18,247,768	247,283	101.4
	下 水 道 事 業	26,638,397	30,503,151	△ 3,864,754	87.3
	計	56,415,566	61,507,055	△ 5,091,489	91.7
桜 財 産 区		32,600	29,800	2,800	109.4
合 計		223,447,208	229,699,028	△ 6,251,820	97.3

平成21年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — ×100(%) (B)	構成比率(%)	
					平成21年度	平成20年度
① 市 税	61,144,400	63,244,700	△ 2,100,300	96.7	62.8	63.3
2. 地 方 譲 与 税	1,333,000	1,410,000	△ 77,000	94.5	1.4	1.4
3. 利 子 割 交 付 金	263,000	220,000	43,000	119.5	0.3	0.2
4. 配 当 割 交 付 金	118,000	271,000	△ 153,000	43.5	0.1	0.3
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	23,000	165,000	△ 142,000	13.9	0.0	0.2
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	3,127,000	2,640,000	487,000	118.4	3.2	2.6
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	440,000	654,000	△ 214,000	67.3	0.4	0.7
9. 地 方 特 例 交 付 金	668,000	558,000	110,000	119.7	0.7	0.6
10. 地 方 交 付 税	1,040,000	820,000	220,000	126.8	1.1	0.8
うち普通交付税	780,000	300,000	480,000	260.0	0.8	0.3
11. 交通安全対策特別交付金	74,000	75,000	△ 1,000	98.7	0.1	0.1
⑫ 分 担 金 及 び 負 担 金	1,313,577	1,278,236	35,341	102.8	1.3	1.3
⑬ 使 用 料 及 び 手 数 料	2,246,609	2,379,506	△ 132,897	94.4	2.3	2.4
14. 国 庫 支 出 金	8,444,411	8,400,888	43,523	100.5	8.7	8.4
15. 県 支 出 金	4,784,396	4,569,901	214,495	104.7	4.9	4.6
⑯ 財 産 収 入	190,836	432,617	△ 241,781	44.1	0.2	0.4
⑰ 寄 附 金	8,761	228,711	△ 219,950	3.8	0.0	0.2
⑱ 繰 入 金	544,246	598,825	△ 54,579	90.9	0.6	0.6
⑲ 繰 越 金	900,359	900,220	139	100.0	0.9	0.9
⑳ 諸 収 入	5,523,105	4,906,496	616,609	112.6	5.7	4.9
21. 市 債	5,105,300	6,004,900	△ 899,600	85.0	5.2	6.0
うち臨時財政対策債	2,909,000	2,197,000	712,000	132.4	3.0	2.2
歳 入 合 計	97,382,000	99,848,000	△ 2,466,000	97.5	100.0	100.0

○付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】	(単位:千円)		
	平成20年度予算額	⇒	平成21年度予算額 増減
分担金及び負担金			
保育所負担金	1,191,387	⇒	1,221,867 (30,480)
使用料及び手数料			
文化会館使用料	99,602	⇒	0 (△ 99,602)
少年自然の家使用料	14,276	⇒	0 (△ 14,276)
汚物取扱手数料	159,000	⇒	142,880 (△ 16,120)
建築構造計算適合性判定手数料	36,287	⇒	6,409 (△ 29,878)
国庫支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	835,509	⇒	955,487 (119,978)
保育所事務費事業負担金	435,391	⇒	531,293 (95,902)
次世代育成支援交付金	70,800	⇒	103,716 (32,916)
生活保護費負担金	3,497,999	⇒	3,779,391 (281,392)
地域介護・福祉空間等整備交付金	120,000	⇒	0 (△ 120,000)
次世代育成支援対策施設整備費交付金	0	⇒	28,549 (28,549)
地域活力基盤創造交付金	0	⇒	456,500 (456,500)
地方道路整備臨時交付金	652,850	⇒	0 (△ 652,850)
公園事業費補助金	120,000	⇒	32,000 (△ 88,000)
県支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	417,752	⇒	477,741 (59,989)
保育所事務費事業負担金	217,695	⇒	265,646 (47,951)
乳幼児医療費補助金	133,242	⇒	194,809 (61,567)
心身障害者医療費補助金	279,117	⇒	319,335 (40,218)
障害者共同生活介護等建設費補助金	45,000	⇒	0 (△ 45,000)
妊婦健康診査臨時特例交付金	0	⇒	75,735 (75,735)
発電用施設周辺地域振興費補助金	43,800	⇒	0 (△ 43,800)
財産収入			
土地貸付収入	12,347	⇒	65,794 (53,447)
市有地売却収入	336,000	⇒	56,000 (△ 280,000)
寄附金			
四日市国際交流協会寄附金	100,000	⇒	0 (△ 100,000)
四日市市都市整備公社寄附金	50,000	⇒	0 (△ 50,000)
霞ヶ浦振興公社寄附金	50,000	⇒	0 (△ 50,000)
四日市市文化振興財団寄附金	20,000	⇒	0 (△ 20,000)
繰入金			
職員退職手当基金繰入金	530,000	⇒	500,000 (△ 30,000)
市営住宅整備基金繰入金	43,100	⇒	14,600 (△ 28,500)
諸収入			
中小企業振興資金融資預託金元利収入	1,834,011	⇒	1,974,650 (140,639)
土地開発公社貸付金元利収入	0	⇒	500,000 (500,000)
北勢公設地方卸売市場組合事務受託費	396,115	⇒	498,746 (102,631)
橋梁整備事業費負担金	48,250	⇒	17,000 (△ 31,250)
朝日・川越二町消防事務費受託費	291,781	⇒	260,620 (△ 31,161)
競輪事業特別会計繰入金	0	⇒	100,000 (100,000)
市債			
河川改良事業資金	484,200	⇒	319,000 (△ 165,200)
街路築造事業資金	842,900	⇒	396,900 (△ 446,000)
公園整備事業資金	242,700	⇒	105,700 (△ 137,000)
消防施設設備整備事業資金	754,800	⇒	158,000 (△ 596,800)
義務教育施設整備事業資金	361,600	⇒	56,900 (△ 304,700)
臨時財政対策資金	2,197,000	⇒	2,909,000 (712,000)

平成21年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

（単位 千円）

区分 款別	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成21年度	平成20年度
1. 議会費	641,978	652,198	△ 10,220	98.4	0.7	0.7
2. 総務費	12,288,178	12,259,655	28,523	100.2	12.6	12.3
3. 民生費	27,193,557	26,306,575	886,982	103.4	27.9	26.3
4. 衛生費	8,897,288	9,402,187	△ 504,899	94.6	9.1	9.4
5. 労働費	52,946	31,163	21,783	169.9	0.1	0.0
6. 農林水産業費	2,366,663	2,344,038	22,625	101.0	2.4	2.3
7. 商工費	3,489,001	3,744,778	△ 255,777	93.2	3.6	3.8
8. 土木費	17,764,869	18,750,520	△ 985,651	94.7	18.3	18.8
9. 消防費	3,446,055	4,511,057	△ 1,065,002	76.4	3.5	4.5
10. 教育費	8,482,001	8,785,904	△ 303,903	96.5	8.7	8.8
11. 公債費	12,659,464	12,959,925	△ 300,461	97.7	13.0	13.0
12. 予備費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
歳出合計	97,382,000	99,848,000	△ 2,466,000	97.5	100.0	100.0

【款別の主な増減(歳出)】		(単位:千円)		
	平成20年度予算額		平成21年度予算額	増減
総務費				
退職手当	2,177,376	⇒	2,317,000 (139,624)
土地開発公社経営健全化対策事業費	0	⇒	1,557,476 (1,557,476)
土地開発公社経営健全化基金積立金	1,007,883	⇒	25,529 (△ 982,354)
新財団法人出捐金	200,000	⇒	0 (△ 200,000)
市税過納返還金	484,253	⇒	250,000 (△ 234,253)
市長選挙費	135,898	⇒	0 (△ 135,898)
衆議院議員選挙費	0	⇒	79,791 (79,791)
民生費				
施設入所支援事業費	11,000	⇒	112,000 (101,000)
心身障害者医療費	606,568	⇒	692,751 (86,183)
後期高齢者医療特別会計繰出金	2,096,455	⇒	2,250,163 (153,708)
生活介護事業費	296,000	⇒	542,248 (246,248)
旧法施設支援事業費	927,820	⇒	620,400 (△ 307,420)
訓練等給付費	75,913	⇒	213,660 (137,747)
保育所事務費事業費	1,842,004	⇒	2,089,110 (247,106)
扶助費(生活保護費)	4,664,000	⇒	5,033,000 (369,000)
衛生費				
北大谷斎場火葬炉整備事業費	82,000	⇒	0 (△ 82,000)
妊産婦乳幼児健康診査事業費	132,952	⇒	298,677 (165,725)
市立四日市病院整備基金積立金	503,000	⇒	3,723 (△ 499,277)
労働費				
施設管理運営費	20,463	⇒	41,300 (20,837)
農林水産業費				
北勢公設地方卸売市場組合施設整備事務受託事業費	396,115	⇒	498,746 (102,631)
北勢公設地方卸売市場組合負担金	157,888	⇒	214,360 (56,472)
食肉センター食肉市場特別会計繰出金	331,767	⇒	313,920 (△ 17,847)
商工費				
企業立地奨励金交付事業費	780,000	⇒	614,000 (△ 166,000)
民間研究所立地奨励金等交付事業費	181,000	⇒	144,000 (△ 37,000)
商工会議所会館建設費補助金	100,000	⇒	0 (△ 100,000)
中小企業振興資金融資預託金	1,834,011	⇒	1,974,650 (140,639)
勤労青少年ホーム費	33,758	⇒	0 (△ 33,758)
土木費				
生活に身近な道路整備事業費	402,000	⇒	492,000 (90,000)
十四川調整池整備事業費	160,000	⇒	0 (△ 160,000)
街路補助事業費	969,000	⇒	630,000 (△ 339,000)
連続立体交差事業負担金	283,000	⇒	17,500 (△ 265,500)
JR四日市貨物駅移転用地取得事業費	53,776	⇒	455,969 (402,193)
公園緑地整備補助事業費	337,500	⇒	179,000 (△ 158,500)
下水道企業会計繰出金	7,647,487	⇒	7,773,000 (125,513)
市営住宅整備基金積立金	280,000	⇒	0 (△ 280,000)
消防費				
退職手当	440,000	⇒	142,000 (△ 298,000)
中消防署中央分署整備事業費	758,557	⇒	0 (△ 758,557)
消防車両購入費	189,440	⇒	291,000 (101,560)
教育費				
退職手当	406,000	⇒	331,000 (△ 75,000)
河原田小学校改築事業費	206,878	⇒	0 (△ 206,878)
保々小学校増築事業費	0	⇒	45,977 (45,977)
中学校給食事業費	49,246	⇒	188,146 (138,900)
朝明中学校増築事業費	0	⇒	60,077 (60,077)
中央緑地運動施設整備事業費	152,700	⇒	55,000 (△ 97,700)
その他運動施設整備事業費	104,200	⇒	0 (△ 104,200)
公債費				
地方債元金償還金	11,089,502	⇒	10,827,905 (△ 261,597)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	641,978			
2. 総 務 費	12,288,178	24,769	761,047	373,300
3. 民 生 費	27,193,557	7,431,874	3,439,234	
4. 衛 生 費	8,897,288	96,764	136,094	45,600
5. 労 働 費	52,946			
6. 農林水産業費	2,366,663		140,627	16,200
7. 商 工 費	3,489,001		200	
8. 土 木 費	17,764,869	762,815	30,856	1,418,100
9. 消 防 費	3,446,055		143,119	158,000
10. 教 育 費	8,482,001	128,189	133,219	185,100
11. 公 債 費	12,659,464			
12. 予 備 費	100,000			
計	97,382,000	8,444,411	4,784,396	2,196,300
歳入振替項目	/			2,909,000
総 計	97,382,000	8,444,411	4,784,396	5,105,300

構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります

財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度	一般財源投入率 (%)	
使用料及び手数料	そ の 他	一 般 財 源	一 般 財 源	本 年 度	前 年 度
	150	641,828	652,048	0.9	0.9
178,116	671,840	10,279,106	9,786,532	14.2	13.3
5,661	1,522,157	14,794,631	14,439,592	20.4	19.6
956,402	1,140,057	6,522,371	7,017,975	9.0	9.5
267	1,000	51,679	29,898	0.1	0.0
259	663,459	1,546,118	1,594,680	2.1	2.2
	2,064,573	1,424,228	1,821,746	2.0	2.5
607,276	76,885	14,868,937	14,599,244	20.5	19.9
79,363	291,337	2,774,236	3,201,599	3.8	4.4
156,880	209,744	7,668,869	7,732,511	10.6	10.5
196,175	666,208	11,797,081	12,549,380	16.3	17.1
		100,000	100,000	0.1	0.1
2,180,399	7,307,410	72,469,084	73,525,205	100.0	100.0
66,210	1,173,474	△ 4,148,684	△ 3,377,505	—	—
2,246,609	8,480,884	68,320,400	70,147,700	—	—

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一般財源(B)	予 算 額 (C)	一般財源(D)
1. 人 件 費	18,419,610	16,027,119	18,900,904	16,452,437
(1) 報 酬	661,506	651,367	649,470	639,416
(2) 基 本 給	8,114,388	6,994,426	8,257,932	7,333,438
(3) そ の 他 の 手 当	4,630,604	4,121,020	4,768,306	4,480,550
(4) 退 職 手 当	2,790,000	2,286,560	3,023,376	1,942,281
(5) 恩 給 退 職 年 金	7,066	7,066	7,066	7,066
(6) そ の 他	2,216,046	1,966,680	2,194,754	2,049,686
2. 物 件 費	13,029,526	10,808,114	12,792,676	10,613,594
3. 維 持 補 修 費	1,625,379	1,036,995	1,626,772	1,015,999
4. 扶 助 費	15,324,504	5,076,161	14,469,931	4,896,043
5. 補 助 費 等	15,903,743	14,649,591	14,645,221	13,258,592
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	2,541,078	481,109	2,575,151	453,567
7. 積 立 金	535,994	116,260	2,324,302	1,616,500
8. 繰 出 金	8,216,381	7,142,397	7,932,841	6,860,462
9. 公 債 費	12,659,464	11,797,081	12,959,925	12,549,380
10. 投 資 的 経 費	9,026,030	5,234,257	11,519,976	5,708,631
(1) 普 通 建 設 事 業	8,973,155	5,216,382	11,163,501	5,670,806
イ、補 助	1,285,914	196,705	1,733,390	268,380
ロ、単 独	7,687,241	5,019,677	9,430,111	5,402,426
(2) 災 害 復 旧 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	52,875	17,875	356,475	37,825
11. 予 備 費	100,291	100,000	100,301	100,000
合 計	97,382,000	72,469,084	99,848,000	73,525,205

目的別分類表

(単位 千円)

比 較				構 成 比 率 (%)			
予 算 額		一 般 財 源		本 年 度		前 年 度	
(A) - (C)	(A)/(C)×100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D)×100 (%)	予 算 額	一 般 財 源	予 算 額	一 般 財 源
△ 481,294	97.5	△ 425,318	97.4	18.9	22.1	18.9	22.4
12,036	101.9	11,951	101.9	0.7	0.9	0.7	0.9
△ 143,544	98.3	△ 339,012	95.4	8.3	9.7	8.3	10.0
△ 137,702	97.1	△ 359,530	92.0	4.8	5.7	4.8	6.1
△ 233,376	92.3	344,279	117.7	2.9	3.2	3.0	2.6
0	100.0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21,292	101.0	△ 83,006	96.0	2.3	2.7	2.2	2.8
236,850	101.9	194,520	101.8	13.4	14.9	12.8	14.4
△ 1,393	99.9	20,996	102.1	1.7	1.4	1.6	1.4
854,573	105.9	180,118	103.7	15.7	7.0	14.5	6.7
1,258,522	108.6	1,390,999	110.5	16.3	20.2	14.7	18.0
△ 34,073	98.7	27,542	106.1	2.6	0.7	2.6	0.6
△ 1,788,308	23.1	△ 1,500,240	7.2	0.6	0.2	2.3	2.2
283,540	103.6	281,935	104.1	8.4	9.9	7.9	9.3
△ 300,461	97.7	△ 752,299	94.0	13.0	16.3	13.0	17.1
△ 2,493,946	78.4	△ 474,374	91.7	9.3	7.2	11.5	7.8
△ 2,190,346	80.4	△ 454,424	92.0	9.2	7.2	11.2	7.7
△ 447,476	74.2	△ 71,675	73.3	1.3	0.3	1.7	0.4
△ 1,742,870	81.5	△ 382,749	92.9	7.9	6.9	9.4	7.3
△ 303,600	14.8	△ 19,950	47.3	0.1	0.0	0.4	0.1
△ 10	100.0	0	100.0	0.1	0.1	0.1	0.1
△ 2,466,000	97.5	△ 1,056,121	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0

※構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
			市 税		地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金
	伸び率	税率	普通	特別	発行額	市 債 依存度	3基金		
平成		%	%	実績	実績		%		
5	86,102,300	1.2	48,784,000	56.7	-	861,254	4,159,300	4.8	2,983,000
6	88,012,300	2.2	45,720,000	52.0	-	850,921	8,786,200	10.0	3,108,000
7	91,952,800	4.5	47,794,000	52.0	-	897,915	9,573,900	10.4	2,900,000
8	94,337,200	2.6	48,511,700	51.4	-	951,334	13,814,300	14.7	1,090,120
9	94,917,000	0.6	53,613,680	56.5	-	980,457	10,425,900	11.0	700,000
10	91,013,000	△ 4.1	52,890,100	58.1	-	1,079,724	6,460,200	7.1	2,470,000
11	90,900,000	△ 0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	△ 1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	△ 3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	△ 2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	520,000	6,004,900	6.0	0
21	97,382,000	△ 2.5	61,144,400	62.8	780,000	260,000	5,105,300	5.2	0

予 算 の 推 移

(単位 :千円)

繰 入 金	歳 出						繰 出 金
	競 輪	公 債 費		地 方 債 年 度 未 残 高	投 資 的 経 費		
		構 成 比	%		う ち 普 通 建 設 事 業 費		
					補 助	単 独	
実績			実績				
1,500,000	7,106,655	8.3	59,616,712	20,750,541	5,640,637	14,953,681	8,159,289
300,000	7,366,140	8.4	68,139,476	20,857,103	6,233,614	14,473,851	8,544,711
0	7,499,239	8.2	76,704,095	22,571,833	6,917,095	15,511,417	8,671,542
50,000	7,889,890	8.4	89,283,768	23,714,303	6,947,530	16,729,274	8,907,190
20,000	8,815,769	9.3	99,938,335	22,358,602	4,789,663	17,539,125	9,254,338
50,000	9,759,014	10.7	105,489,490	16,663,239	4,384,578	12,234,355	9,736,790
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597
0	12,959,925	13.0	93,051,356	11,163,501	1,733,390	9,430,111	7,932,841
100,000	12,659,464	13.0	92,941,850	8,973,155	1,285,914	7,687,241	8,216,381

平成 2 1 年 度 税 収 入 予 算 資 料

(単位 千円)

税目	税 率 等	調定見込額	収納率 見込%	本年度当初予算 計上額 (A)	前年度当初予算 計上額 (B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税		63,701,231	96.0	61,144,400	63,244,700	96.7
1. 市民税		26,022,215	94.2	24,513,800	26,854,800	91.3
一 個人		20,380,113	92.7	18,902,500	18,888,400	100.1
イ、現年度分	154,004(人)	19,097,946	97.4	18,601,400	18,637,300	99.8
所得割	6%	18,635,934	97.4	18,151,400	18,189,700	99.8
均等割	3,000(円)	462,012	97.4	450,000	447,600	100.5
ロ、繰越分		1,282,167	23.5	301,100	251,100	119.9
二 法人		5,642,102	99.5	5,611,300	7,966,400	70.4
イ、現年度分	8,489(社)	5,616,032	99.8	5,604,800	7,961,000	70.4
法人税割	13.5%(旧楠町は12.3%)	4,616,032	99.8	4,606,800	6,943,100	66.4
均等割	(万円) 5、12、13 15、16、40 41、175、300	1,000,000	99.8	998,000	1,017,900	98.0
ロ、繰越分		26,070	25.0	6,500	5,400	120.4
2. 固定資産税		32,563,240	97.2	31,645,700	31,300,000	101.1
一 固定資産税		32,528,640	97.2	31,611,100	31,263,800	101.1
イ、現年度分		31,689,769	99.1	31,409,800	31,055,100	101.1
土地分	1.4%	8,971,472	98.5	8,836,900	8,803,800	100.4
家屋分	1.4%	8,762,741	98.5	8,631,300	8,699,900	99.2
償却資産分	1.4%	13,955,556	99.9	13,941,600	13,551,400	102.9
ロ、繰越分		838,871	24.0	201,300	208,700	96.5
二 国有資産等所在 市町村交付金		34,600	100.0	34,600	36,200	95.6
イ、現年度分		34,600	100.0	34,600	36,200	95.6
交付金	1.4%	34,600	100.0	34,600	36,200	95.6
3. 軽自動車税		551,464	90.9	501,100	496,300	101.0
イ、現年度分	104,582(台) 1,000(円) ～7,200(円)	508,866	97.0	493,600	488,700	101.0
ロ、繰越分		42,598	17.7	7,500	7,600	98.7
4. 市たばこ税	3,298(円)/千本 1,564(円)/千本	1,960,300	100.0	1,960,300	2,061,400	95.1
5. 入湯税	日帰り 6,250、 1人 80円 宿泊 C 1人1泊 150円	500	100.0	500	500	100.0
6. 都市計画税	(旧楠町は課さない)	2,603,512	96.9	2,523,000	2,531,700	99.7
イ、現年度分		2,527,548	99.1	2,504,800	2,512,200	99.7
土地分	0.2%	1,427,245	99.1	1,414,400	1,414,200	100.0
家屋分	0.2%	1,100,303	99.1	1,090,400	1,098,000	99.3
ロ、繰越分		75,964	24.0	18,200	19,500	93.3

(単位 千円)

税目	税率等	調定見込額	収納見込率%	本年度予算計上額 (A)	前年度予算計上額 (B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
地方譲与税		1,333,000	100.0	1,333,000	1,410,000	94.5
1. 地方揮発油譲与税		156,800	100.0	156,800	-	皆増
2. 自動車重量譲与税		771,000	100.0	771,000	800,000	96.4
3. 地方道路譲与税		93,200	100.0	93,200	270,000	34.5
4. 特別とん譲与税		312,000	100.0	312,000	340,000	91.8
利子割交付金		263,000	100.0	263,000	220,000	119.5
利子割交付金		263,000	100.0	263,000	220,000	119.5
配当割交付金		118,000	100.0	118,000	271,000	43.5
配当割交付金		118,000	100.0	118,000	271,000	43.5
株式等譲渡所得割交付金		23,000	100.0	23,000	165,000	13.9
株式等譲渡所得割交付金		23,000	100.0	23,000	165,000	13.9
地方消費税交付金		3,127,000	100.0	3,127,000	2,640,000	118.4
地方消費税交付金		3,127,000	100.0	3,127,000	2,640,000	118.4
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
自動車取得税交付金		440,000	100.0	440,000	654,000	67.3
自動車取得税交付金		440,000	100.0	440,000	654,000	67.3
地方特例交付金		668,000	100.0	668,000	558,000	119.7
地方特例交付金		418,000	100.0	418,000	308,000	135.7
特別交付金		250,000	100.0	250,000	250,000	100.0

基金の状況

(単位:千円)

基金名	平成21年度末 残高見込	基金名	平成21年度末 残高見込
職員退職手当基金	569,329	ふるさと・水と土保全基金	16,255
桜運動広場整備基金	24,035	中小企業振興基金	6,498
土地開発公社経営健全化基金	3,665,795	広域基幹道路整備基金	980,253
国際交流基金	113,534	緑化基金	172,910
文化振興基金	219,234	市営住宅整備基金	411,875
財政調整基金	2,482,087	学校施設整備基金	781,964
都市基盤・公共施設等整備基金	323,999	小菅科学教育振興基金	27,993
減債基金	329,730	土地開発基金	1,151,154
まちづくり事業基金	1,679,434	競輪事業財政調整基金	1,355,901
社会福祉事業振興基金	427,571	国民健康保険支払準備基金	150,038
災害救助基金	108,782	東橋北住環境整備基金	751
廃棄物処理施設整備基金	432,449	介護保険給付費支払準備基金	699,293
市立四日市病院整備基金	1,006,723		

市税等の推移

年 度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	
市 税	100.6%	97.2%	98.5%	97.2%	98.6%	
	54,651,840	53,104,170	52,310,758	50,839,465	50,133,200	
	うち個人市民税	97.2%	95.2%	97.1%	98.7%	93.6%
	15,576,141	14,822,715	14,389,736	14,204,296	13,294,067	
うち法人市民税	87.7%	103.7%	104.9%	84.7%	122.2%	
4,868,823	5,051,204	5,296,663	4,487,950	5,485,014		
うち固定資産税	104.6%	96.6%	98.0%	98.6%	97.4%	
28,816,683	27,845,859	27,293,990	26,899,992	26,199,571		
地 方 譲 与 税	103.5%	96.3%	105.9%	96.0%	104.9%	
1,363,067	1,312,385	1,389,423	1,334,308	1,400,068		
利 子 割 交 付 金	115.3%	464.0%	98.7%	28.8%	70.5%	
468,528	2,174,040	2,145,652	617,784	435,386		
配 当 割 交 付 金						
株式等譲渡所得割交付金						
地 方 消 費 税 交 付 金	92.9%	103.1%	92.7%	91.3%	107.4%	
3,093,121	3,189,836	2,955,812	2,699,183	2,900,256		
ゴルフ場利用税交付金	100.7%	103.9%	103.5%	95.2%	98.0%	
106,263	110,445	114,287	108,754	106,614		
特別地方消費税交付金	93.6%	18.9%	17.6%	皆減		
59,414	11,207	1,978				
自動車取得税交付金	97.9%	98.3%	94.4%	94.8%	107.2%	
798,108	784,199	740,568	701,758	752,335		
地 方 特 例 交 付 金	皆増	136.3%	102.8%	96.6%	99.6%	
1,245,994	1,698,909	1,747,237	1,687,946	1,681,143		
地 方 交 付 税	222.3%	117.3%	95.3%	119.4%	94.7%	
4,711,899	5,526,255	5,267,926	6,290,170	5,954,225		
うち普通交付税	376.6%	122.0%	95.1%	128.1%	94.7%	
3,326,420	4,058,554	3,859,379	4,942,661	4,681,823		
うち特別交付税	112.0%	105.9%	96.0%	95.7%	94.4%	
1,385,479	1,467,701	1,408,547	1,347,509	1,272,402		

※ 平成16年度までについては、旧四日市市と旧楠町の決算額の合計

(決算ベース)

(単位 千円)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度 (12月補正後)	平成20年度 (決算見込)	平成21年度 (当初予算)
100.4%	104.8%	102.5%	111.7%	104.8%	104.5%	96.9%
50,317,982	52,724,859	54,045,765	60,367,262	63,244,700	63,072,329	61,144,400
97.1%	106.1%	109.5%	122.9%	102.5%	103.5%	99.1%
12,907,800	13,696,359	14,990,751	18,430,530	18,888,400	19,078,700	18,902,500
108.8%	126.8%	126.3%	114.3%	92.5%	84.2%	77.4%
5,967,750	7,568,809	7,537,684	8,613,826	7,966,400	7,252,900	5,611,300
100.1%	100.1%	100.3%	107.0%	111.1%	112.3%	100.1%
26,221,424	26,253,016	26,337,518	28,169,484	31,300,000	31,628,129	31,645,700
141.5%	126.5%	145.2%	40.0%	96.8%	94.9%	96.4%
1,981,641	2,506,349	3,640,316	1,457,335	1,410,000	1,383,200	1,333,000
98.1%	58.5%	71.9%	129.2%	94.8%	105.0%	107.9%
426,981	249,861	179,703	232,175	220,000	243,700	263,000
皆増	151.5%	148.9%	115.5%	117.3%	47.0%	108.7%
88,672	134,296	200,027	231,081	271,000	108,600	118,000
皆増	227.1%	93.0%	89.4%	93.5%	17.0%	76.7%
93,516	212,386	197,566	176,535	165,000	30,000	23,000
109.0%	92.4%	104.0%	98.3%	88.3%	90.3%	115.8%
3,162,038	2,922,551	3,040,440	2,989,911	2,640,000	2,700,000	3,127,000
96.8%	98.8%	96.0%	102.2%	90.0%	97.3%	92.6%
103,217	101,969	97,842	99,947	90,000	97,200	90,000
102.1%	100.3%	99.0%	94.0%	91.2%	94.7%	64.8%
768,479	770,963	762,890	717,325	654,000	679,000	440,000
101.4%	101.8%	90.9%	25.3%	170.1%	170.1%	98.4%
1,705,436	1,736,681	1,578,349	399,135	679,061	679,061	668,000
66.8%	98.9%	46.6%	87.7%	56.2%	56.2%	115.1%
3,976,031	3,931,391	1,832,060	1,607,458	903,747	903,747	1,040,000
58.8%	100.6%	28.4%	102.7%	47.5%	47.7%	202.3%
2,753,891	2,769,273	786,908	807,954	383,747	385,604	780,000
96.0%	95.1%	89.9%	76.5%	65.0%	65.0%	50.0%
1,222,140	1,162,118	1,045,152	799,504	520,000	520,000	260,000

上段は対前年度比

地方債年度末

年度		15決算	16決算	17決算	18決算	19決算
区分						
普通会計	一般会計	107,705,872	105,425,611	102,599,283	100,338,490	98,296,307
	うち減税補てん債 (借換債含む)	11,460,394	11,515,586	11,366,740	11,078,711	10,153,447
	うち臨時財政対策債	7,837,100	11,592,700	14,365,675	16,803,350	18,719,501
	特別会計					
	土地区画整理事業	4,321,225	4,588,744	4,399,074	4,077,107	3,736,457
	住宅新築資金等 貸付事業	266,454	217,561	160,701	115,448	94,709
	公共用地取得事業	3,913,568	5,411,024	8,619,030	8,176,966	7,630,702
	(都市下水路分)	375,200	463,100	563,100	609,505	589,421
計	116,582,320	116,106,041	116,341,188	113,317,515	110,347,596	
うち合併特例債 (基金造成含む)		523,000	2,052,100	4,547,200	8,305,200	
収益	競輪事業会計	175,700	125,835	75,703	25,301	
準 公 営 企 業	食肉センター 食肉市場事業	1,707,240	1,747,392	1,749,747	1,783,229	1,735,359
	公共下水道事業	3,244,177				
	農業集落排水事業	1,602,311	1,757,867	1,864,438	1,975,703	1,987,183
	計	6,553,728	3,505,259	3,614,185	3,758,932	3,722,542
公 営 企 業	水道事業	21,891,518	21,620,128	21,375,796	21,197,872	19,483,177
	市立四日市病院事業	3,310,040	2,978,137	2,627,307	2,817,649	3,744,942
	下水道事業	101,392,179	104,125,263	103,002,712	101,600,715	100,258,068
	計	126,593,737	128,723,528	127,005,815	125,616,236	123,486,187
重複分		375,200	463,100	563,100	609,505	589,421
合 計		249,530,285	247,997,563	246,473,791	242,108,479	236,966,904

現在高の推移 (過去の決算額に楠町分を含む)

(単位 千円)

20見込	21 当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
98,664,555	10,827,905	1,821,559	12,649,464	5,105,300	92,941,950
9,185,099	1,012,823	120,916	1,133,739		8,172,276
20,288,656	735,353	254,360	989,713	2,909,000	22,462,303
3,307,942	425,289	61,913	487,202		2,882,653
78,301	44,643	3,807	48,450		33,658
6,867,135	1,238,051	102,691	1,340,742		5,629,084
567,815	28,627	7,103	35,730		539,188
109,485,748	12,564,515	1,997,073	14,561,588	5,105,300	102,026,533
10,631,514	306,879	131,947	438,826	1,016,900	11,341,535
1,758,703	110,145	31,822	141,967	5,600	1,654,158
(※14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)					
1,992,663	82,258	43,442	125,700	104,100	2,014,505
3,751,366	192,403	75,264	267,667	109,700	3,668,663
17,966,743	1,605,296	493,731	2,099,027	1,040,000	17,401,447
3,625,292	850,517	38,282	888,799	450,000	3,224,775
99,143,467	9,031,038	2,626,589	11,657,627	6,821,500	96,933,929
120,735,502	11,486,851	3,158,602	14,645,453	8,311,500	117,560,151
567,815	28,627	7,103	35,730		539,188
233,404,801	24,215,142	5,223,836	29,438,978	13,526,500	222,716,159

一般会計歳出予算【部局別】

(単位:千円、%)

部局	区分	21年度当初	20年度当初	増減額		伸率
		A	B	A-B	C	C/B×100
経営企画部		24,899,271	25,214,388	△ 315,117		△ 1.2
総務部		6,502,194	6,285,271	216,923		3.5
税務理財部		1,666,611	1,934,843	△ 268,232		△ 13.9
市民文化部		1,576,737	1,738,470	△ 161,733		△ 9.3
楠総合支所		134,030	155,003	△ 20,973		△ 13.5
福祉部		20,391,448	19,762,504	628,944		3.2
健康部		2,280,557	2,027,006	253,551		12.5
商工農水部		5,418,683	5,599,495	△ 180,812		△ 3.2
環境部		5,496,845	5,771,047	△ 274,202		△ 4.8
都市整備部		7,546,955	8,581,678	△ 1,034,723		△ 12.1
会計管理室		28,153	29,380	△ 1,227		△ 4.2
議会事務局		647,978	652,198	△ 4,220		△ 0.6
選挙管理委員会		116,327	176,228	△ 59,901		△ 34.0
監査事務局		93,063	93,304	△ 241		△ 0.3
教育委員会		8,165,373	8,474,851	△ 309,478		△ 3.7
消防本部		3,443,297	4,507,797	△ 1,064,500		△ 23.6
企業補助 会計に 対する 費等	上下水道局	8,030,440	7,967,257	63,183		0.8
	市立四日市病院	944,038	877,280	66,758		7.6
合計		97,382,000	99,848,000	△ 2,466,000		△ 2.5

経営企画部

新年度予算における基本的な方針

今日の世界的な経済不況の影響を受けて、市税収入は新年度から減少局面に入り、次年度以降は、さらに大幅に減少するおそれがある。このような厳しい経済情勢の中にあって、「集中と選択」による施策の展開を図るとともに、引き続き、「財政の健全化」や「行財政改革」を着実に推進することにより、「第2次行政経営戦略プラン(平成19年度～21年度)」の達成を目指す。

なお、平成21年度は同プランの最終年度に当たるが、プランの改定については、次期総合計画の策定と歩調を合わせることで、現計画の見直しにより計画期間を1年間延長する。

中核市への移行については、大矢知・平津事案など産廃問題の経過を勘案しつつ、移行時期について見極めるとともに、第2期地方分権改革の進展も見据えながら、中核市にふさわしい組織運営や広域連携のあり方等について検討する。

また、新年度より、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により規定された4つの財政指標が本格適用されることから、引き続き、第2次土地開発公社健全化計画を推進するとともに、**企業会計を含めた市債残高**などの低減に努め、財政規律を確保しつつ着実な財政運営を推進することとする。

1. 総合計画の推進等について

第2次行政経営戦略プランを推進しつつ、平成22年度を最終年度とする現総合計画の改訂に向けて準備作業を進める。なお、**計画策定に係る事業費については6月補正により対応**する。

また、平成20年度に策定した「四日市市食育基本計画」に基づき、食育関連施策の着実な実施を推進するとともに、行政のみならず生産者や学校関係者、市民活動団体など、様々な主体との協働による食育推進を目指し、食育推進ネットワークの構築を図る。

その他、新たな市民ニーズや政策課題に対応した調査研究を進めるとともに、社会経済状況の変化に応じた行政課題について、四日市大学や四日市看護医療大学などの関係機関と連携を図りつつ、政策推進監会議や各部局を横断する庁内研究体制を整え政策研究を進める。

【主な事業】 食育推進ネットワーク事業 1,000千円

2. 政策等の推進体制について

政策の推進や部局横断的な課題の調整機能を強化するとともに、税や財政、財産管理、行革部門を集約し、財政規律の確保や財政の健全化を推進する組織体制の

強化を図るため、経営企画、総務、税務理財の3部を再編し、新たに**政策推進部と財政経営部を設置する**とともに総務部の業務分担を見直す。

また、市長マニフェストを市の政策に反映し、推進していくため、各部局の政策推進監や関係職員で構成する「**プロジェクト“Y”推進チーム**」を設置するとともに、政策の進捗状況についての評価検証を行うための「**第三者評価検証委員会**」を設置する。

3. 土地開発公社の経営健全化について

平成20年度に策定した「第2次四日市市土地開発公社経営健全化計画」及び「四日市市土地開発公社の健全経営に関する特例条例」に基づき、公社にかかわって金融機関に対し借入金の弁済を行うとともに、経営健全化計画の推進に必要な経費について、公社へ事務費等交付金を交付する。

また、保有土地の処分に係る造成経費等に要する経費を確保するため、土地開発公社経営健全化基金の運用益等の積立を行う。

【主な事業】	経営健全化対策弁済金	1,512,925千円
	事務費等交付金	44,551千円
	土地開発公社経営健全化基金積立金	25,529千円

4. 行財政改革等の推進について

行財政改革については、第2次行政経営戦略プラン・行革プラン(平成19～21年度)に基づき、計画的かつ着実な実施に向けて、各改革事項の進捗管理を行う。また、より一層の行財政改革の推進を図るため、行革プランのローリングを実施し、新たな改革項目への取組みを進める。

また、多様化する市民サービスに的確に応え、簡素で効率的な行財政運営を図るため、アウトソーシングを積極的に推進していく必要があり、そのために市場化テスト等の具体的な手法について、基本的な考え方や方向性を整理する。

一方、指定管理者制度については、平成22年度指定更新の施設について公募を実施するほか、指定管理者のモニタリングの充実のために、指定管理業務の分析手法の改善や改良を図るとともに第三者による監視・検証体制を整備する。

【主な事業】	行財政改革推進費	5,248千円
--------	----------	---------

5. 健全な財政運営の推進について

予算編成においては、政策プランの進捗を優先するとともに、財源配分方式により、各部局が主体となって、業務棚卸表等を活用した決算評価に基づく成果・決算を重視しながら、事業の優先順位付け、事務事業の効率化を行う予算編成システムを継続して実施する。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が本格実施されることから、健全化判断比率を改善するため、第2次財政プランに示す「財政運営の指針」に掲げる目標の達成に向け、中長期的な観点からの財政運営を推進する。

また、**公会計制度の改革**により、平成21年度秋に財務書類を作成、公表することから、企業会計、第三セクター等と連結した本市の資産及び債務の実態を把握し、職員のコスト意識の醸成に努める。

【主な事業】	財政管理経費	7,961千円
	(内 公会計システム財務諸表作成業務委託	3,500千円)

6. 四日市港の整備促進について

新年度において、四日市港管理組合は現在策定中の「四日市港長期構想」に基づき「港湾計画」の改定を行う予定であり、四日市港が伊勢湾スーパー中枢港湾の一翼を担う特定重要港湾として、さらに中部地域の産業活動を支え国際競争力を維持・強化されるよう、管理組合と協議を進める。また、臨港道路霞4号幹線を始めとする港湾施設の整備を促進する。

中部国際空港への海上アクセス運行事業については、運行再開を含めた今後のあり方について方向性を見出す。

【主な事業】	四日市港管理組合負担金	1,597,873千円
	海上アクセス関連経費	40,608千円

7. 四日市看護医療大学について

平成19年4月に開学した四日市看護医療大学に対し、引き続き、施設整備費等に関する補助を行うとともに、地域医療の充実と看護師不足の解消を図るため「四日市看護医療大学育成会」が運営する奨学制度に対して補助する。

【主な事業】	四日市看護医療大学設立支援事業費	200,000千円
	四日市看護医療大学奨学資金	92,220千円

総 務 部

新年度予算における基本的な方針

市民が安全に暮らせるように、近い将来に発生すると想定されている東南海地震及び南海地震などへの地震防災対策を引き続き推進するとともに、昨年完成した常設型危機管理室を活用し、新たな危機に対しても対応できる危機管理機能を備えた体制整備を図る。

また、一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、各種の答申を踏まえた施策の推進を図るとともに、よっかいち人権施策推進プランに掲げた人権・同和施策に取り組むほか、人権センターを公の施設として設置するなど、人権行政組織の充実・強化を図る。

1. 防災対策の推進及び危機管理機能の整備について

東南海地震及び南海地震などへの地震防災対策として、これまで実施してきた木造住宅の無料耐震診断、補強計画策定補助、耐震補強補助等を継続して実施する。また、市民の積極的な防災活動を支援するため、自主防災組織の活動や資機材整備等に対する助成を行って市民の防災力の向上を図るほか、総合防災訓練を三重県と合同で実施して、県や周辺市町との連携を高める。

そのほか、昨年 11 月に本庁舎 6 階に完成した常設型危機管理室における災害対策本部運用訓練等を通じて、これまで以上に災害発生時に迅速かつ確かな対応ができるよう危機管理の充実強化を図る。さらに、従来の自然災害や武力攻撃などに加え、新型インフルエンザなどの新たな危機に対しても対応できる危機管理機能を備えた体制整備を図る。

【主な事業】	耐震化促進事業	70, 100千円
	自主防災組織活性化事業	33, 750千円

2. 人権施策の推進について

平成 16 年 3 月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」や平成 19 年 8 月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について（答申）の具体化を図るための仕組みについて」など、各種の答申を踏まえた施策の推進を図るとともに、平成 17 年 3 月に策定した「よっかいち人権施策推進プラン」に掲げた施策を具体的に実施していくための事業に取り組む。

また、新たに「公の施設」として人権センターを総合会館 7 階に設置して人権施策の総合調整を高めて施策推進を図るとともに、人権プラザにブロックセンター機能を付加して市民利用を促進する。

【主な事業】	各地区人権教育推進事業	7, 200千円
	人権のまちづくり事業	5, 900千円
	人権リーダー養成講座（人権大学）	2, 036千円
	人権活動拠点施設整備事業（施設改修）	32, 289千円
	人権フェスティバル事業	800千円

3. 広報施策の推進について

市政や施策を、広報紙をはじめケーブルテレビ、インターネット、FMラジオなどの各種広報媒体の特性を生かして、市民に分かりやすくタイムリーに情報提供することにより、市民の市政への理解を深めるとともに、開かれた市政を推進する。

ケーブルテレビの放送においては、地上デジタル放送の普及にあわせて、アナログ放送番組を地上デジタルでも放送する。

【主な事業】	広報刊行物発行事業	59, 959千円
	（ポルトガル語広報発行経費 1, 460千円含む）	
	ケーブルテレビ等市政情報発信事業	26, 590千円

4. 情報化の推進について

住民情報システムなどの市民窓口を支援するシステムや公共施設の施設予約システムなど、市民の利便性向上に資する各種システムや、行政内部の事務効率化を図る行政内部システムの保守運用管理を行い、システムの安定運用を図る。また、電子申請等の電子自治体への取り組みを継続して行う。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用経費	196, 981千円
	行政内部システム IT 基盤整備事業	342, 097千円
	行政サービスの IT 化事業	25, 593千円

5. 職員研修の充実について

職員の各階層に応じた職務遂行能力を高めるための階層別研修をはじめ、特別研修（実務・専門研修）では直面する様々な行政課題に対応するため、コンプライアンス研修や官民交流セミナー、アカウントビリティ能力養成研修などを実施して職員の法令遵守意識の向上や意識改革を進めるとともに、技術系職員の技術力等向上のための研修内容の充実を図る。

また、派遣研修では自治大学校、市町村アカデミー及び技術系職員研修機関等の外部教育機関へ職員を派遣し、その成果を発揮させることにより地方分権の進展などの行政課題へ適切に対応するとともに、職場の活性化と市民から信頼される職員の育成を目指す。

【主な事業】	階層別研修費	9, 081千円
--------	--------	----------

特別研修費	4, 0 0 6 千円
派遣研修費	9, 2 0 2 千円

6. 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の実施について

平成 21 年 9 月に任期満了となる衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を適正に執行する。

【主な事業】	衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査
	7 9, 7 9 1 千円

住宅・建物耐震化支援事業

1. 目的

大規模地震から市民の尊い命と財産を守るため、国土交通省「住宅・建築物耐震改修等事業制度」や三重県「三重県木造住宅耐震診断費等事業費補助事業」、「三重県木造住宅耐震補強補助事業」を活用し、住宅・建築物の耐震化を支援する。

2. 内容

(1) 木造住宅無料耐震診断 (300 戸)

昭和 56 年の建築基準法改正前に着工された木造軸組工法（在来工法）の住宅に対する無料耐震診断。

(2) 木造住宅耐震補強計画策定費補助金 (70 戸)

木造住宅の耐震診断受診者が耐震補強工事を行うための補強計画策定費に対する補助。

(3) 木造住宅耐震補強工事費補助金（耐震補強工事費補助 40 戸、準耐震補強工事費補助 10 戸）

木造住宅の耐震診断受診者が耐震補強工事を行う際に、その費用の一部に対する補助。

(4) 木造住宅除却工事費補助金 (30 戸)

老朽化が著しく耐震補強が困難な住宅について、隣接する避難路及び他の住宅等に影響を及ぼすと認められる場合に、その除却に必要な経費の一部を助成。

(5) 家具転倒防止金具取付事業 (100 戸)

災害時要援護者宅での家具への転倒防止金具の無償取り付け。

(6) 共同住宅耐震診断費補助金 (1 棟)

昭和 56 年の建築基準法改正前に建築された 3 階建てかつ 1,000 m²以上の共同住宅（分譲マンション）の耐震診断にかかる経費の一部を助成。

3. 予算額	70,100 千円	(財源内訳) 県支出金	38,425 千円
	(前年度 65,750 千円)	一般財源	31,675 千円

○過去の実績

区 分	H17	H18	H19	H20 (見込み)
木造住宅耐震診断	560 戸	290 戸	403 戸	280 戸
耐震補強計画作成	—	73 戸	66 戸	70 戸
木造住宅耐震補強	39 戸	46 戸	37 戸	41 戸
木造住宅準耐震補強	—	11 戸	9 戸	11 戸
除却工事費補助	—	11 戸	13 戸	10 戸



担当 総務部 防災対策課
 浜 浦
 TEL 354-8119

自主防災組織活性化事業費

1. 目的

地震等の大規模災害に対応するため「自らの命は自らが守る」という防災対策の基本に立ち、市民の自助努力や地域連携による共助が行われやすいように自主防災組織の活動支援を行い、市民による自助・共助の推進を図る。

2. 内容

(1) 地区防災組織活動助成 (上限：38万円+30円×世帯数)

地区連合自主防災組織が実施する防災訓練・防災啓発等に要した経費について助成。

(2) 自主防災組織結成補助 (上限：15万円)

新規に自主防災組織を結成した場合に、防災資機材の整備に要した経費について助成。

(3) 防災資機材等整備補助 (1/2補助 上限：5万円+300円×世帯数)

自主防災組織が防災資機材の整備に要した経費について助成。

(4) 防災対策設備等整備補助 (1/2補助 上限50万円)

自主防災組織等が可搬式ポンプの購入、防災倉庫の設置に要した経費について助成。

3. 予算額 33,750千円 (財源内訳) 一般財源 33,750千円
 (前年度 31,250千円)

○自主防災組織の結成総数

区 分	H17	H18	H19	H20
地区防災組織	19	25	29	29
自主防災組織	629	649	658	667



担当	総務部	防災対策課
	村田	
	Tel	354-8119

税 務 理 財 部

新年度予算における基本的な方針

市税全般について、収納率の向上と収入の確保を図るため、納税者に税制度の十分な理解が得られるよう周知・広報を行うとともに、課税対象者の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。また、引き続き滞納対策の強化に取り組むことによって、累積滞納額の削減に努める。

また、自主納税の推進の一環として、納税者の利便性を図るため、平成21年度に軽自動車税を対象としてコンビニ収納を導入するとともに、地方税の電子化を推進し、納税者の利便性の向上を図るため平成20年12月に導入した電子申告サービス（エルタックス）と基幹税システムとの連携を進めるための必要なシステム改修を行う。

さらに、平成22年度に導入を予定している事業所税について、平成21年度中に、事業者への周知や国・県との調整、システム開発など課税開始に向けての作業を進めていく。

1. コンビニ収納導入に向けた取組について

納税者の利便性の向上を図り、自主納税を一層推進するため、平成21年度から軽自動車税についてコンビニ収納を導入する。また、その利用状況等を検証し、他の税目への導入を検討する。

2. 事業所税の導入に向けた取組について

平成22年8月の課税開始（予定）に向け、平成21年度は専門の組織を整備し、課税対象となる事業所の把握、非課税あるいは減免対象、申告義務の範囲などについて具体的な方針を固めるとともに、課税システムの開発や各種帳票等の検討を進める。

また、広報、ホームページの利用や、商工会議所等の関係機関との連携を図りながら事業所向けの周知を進めていく。

3. 電子申告サービス（エルタックス）の利用について

地方税の電子化を推進し、納税者の利便性の向上を図るため、平成20年12月から、個人市県民税、法人市民税及び固定資産税（償却資産）において導入したエルタックスについて、正確かつ効率的な処理を進めるとともに、給与支払報告書データ連携のための基幹税システムの改修を行う。

【主な事業】 申告・納税電子化経費

基幹税システム改修費 （給与支払報告書データ連携）	3, 506千円
エルタックス審査システム利用料	8, 036千円
エルタックス会費	303千円

4. 市県民税の公的年金からの特別徴収（天引き）について

平成21年10月からの市県民税の公的年金からの特別徴収の開始に向け、社会保険庁等との連携、異動処理等の運用方法及び収納連携等の仕様の検討を進め、システム開発を行う。

また、対象となる65歳以上の納税者に混乱が生じないように周知を図り、わかりやすい制度運用に努める。

【主な事業】 申告・納税電子化経費

基幹税システム改修費（年金特徴、収納連携）	14,494千円
年金特徴経由機関業務システム運用費分担金	551千円
年金特徴経由機関業務事務運営費分担金	172千円

5. 償却資産課税の強化について

償却資産の課税対象の把握は、土地、家屋と比較すると難しいことから、どの自治体も課税漏れの防止に苦慮している。本市は、平成15年度から税務署の法人税申告書を調査し、追徴課税を行ってきており、平成21年度はこれをさらに強化する。

また、事業所が償却資産の申告義務自体を知らないことも未申告の原因となっていることから、申告制度及び平成20年度に導入した電子申告サービス（エルタックス）の利用促進のPRを積極的に行う。

6. 地籍図のデータベース化について

現在、マイラー（ポリエステル・フィルム）により管理している窓口備付地籍図は、毎年150冊程度製本しているが、用紙の値上がりとともに製本費が増加すると予想されるため、早期にデータベース化しシステムによる管理に移行する。

これに伴い、費用の縮減、地籍図の証明発行事務の時間短縮と職員の作業の軽減を図ることができ、また、庁内の各所属においてもオンラインにより閲覧することが可能となる。

【主な事業】 地籍図管理システム及びデータ作成業務 15,523千円

7. 地図情報システムの整備について

固定資産（土地、家屋）の現況を賦課期日（1月1日）において的確に把握し、公平で適正な賦課を行うための基礎資料とするため、平成4年度から3年ごとに航空写真撮影及びデジタルオルソ画像データ等を作成している。平成21年度は、固定資産税の賦課期日（平成22年1月1日）において本市全域の航空写真を撮影し、デジタル処理を行い、地図情報システム上にて基盤図の一つとして活用する。

【主な事業】 航空写真撮影業務 11,550千円

8. 外国人滞納者対策について

平成20年6月1日時点の滞納者の割合は全市人口の6.5%となっており、滞納者のうち、外国人の割合は16.6%（外国人登録者数比では25.1%）と依然として高率で推移している。その対策として、督促状については翻訳文を裏面に掲載、文書催告等については翻訳した説明文を同封することなどにより納税催告を行っており、さらに、各書類についての翻訳を進める。

また、年2回、外国人集住地区を中心に訪宅徴収を実施し、集中的な滞納整理の推進を図る。さらに、外国人を雇用する事業所に対して市県民税の特別徴収実施の要請を行う。

9. 公会計制度改革について

総務省から示された新たな「地方行革指針」に基づき、平成21年秋を目処に貸借対照表等の財務諸表の開示が義務付けられた。平成20年度においては、財務諸表作成に必要な平成19年度までの公有財産データ（土地・建物・工作物・立木竹）の整備作業を行った。平成21年度においては、同データを使用して財務諸表を作成する際に必要な固定資産のデータを作成・登録する作業と、平成20年度中に取得又は異動のあった公有財産データを登録済の固定資産のデータに対して追加及び異動するデータの作成・登録作業を行う。また、平成20年度に整備した公有財産データを今後管理する上で必要な公有財産システムの改修作業を進める。

10. 市有財産の活用

普通財産として所有している財産については貸付等の有効利用を積極的に図るとともに、将来にわたり利活用が見込めない遊休財産については売却処分を図るため、現況調査や管理台帳の整理、境界確認等処分のための環境整備を推進する。

また、行政財産についても行政目的の阻害にならない範囲内で広告収入等の新規財源の開拓を図る。

11. 入札契約制度について

平成20年4月から「希望価格制度」、「変動型最低制限価格制度」、「測量調査設計業務の一般競争入札」を導入し、入札契約制度の改善を行っているが、制度改正に伴う事後検証を行うとともに、引き続き入札契約制度の競争性及び客観性の確保並びに透明性の向上を図っていく。

また、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の趣旨に基づき、平成20年度に引き続き総合評価方式を拡大試行する。

12. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されて以来3年が経過し、発注者の責務として、工事中及び完成時の施工状況の確認とその評価を適切に実施することがより一層求められている。このため、施工途中における監督員の段階確認を確実に実施するよう指導に努めるとともに、施工状況等の評価を含めた適正な工事検査を行う。

なお、平成20年度より埋め戻し等によって不可視となる部分について随時検査を実施し、より品質の高い工事成果が得られるよう努めている。

市県民税の公的年金からの特別徴収（天引き）

1. 目的

地方税法の改正に伴い、平成21年10月から、個人市県民税の公的年金からの特別徴収制度を開始し、65歳以上の公的年金受給者の納税の便宜並びに徴収の効率化を図る。

なお、本制度の運用に当たっては、特別徴収義務者（社会保険庁等）と各自治体とのデータ（公的年金支払報告書等）の授受を、（社）地方税電子化協議会を經由機関とし、エルタックス（地方税電子申告）を利用することとなっている。

2. 内容

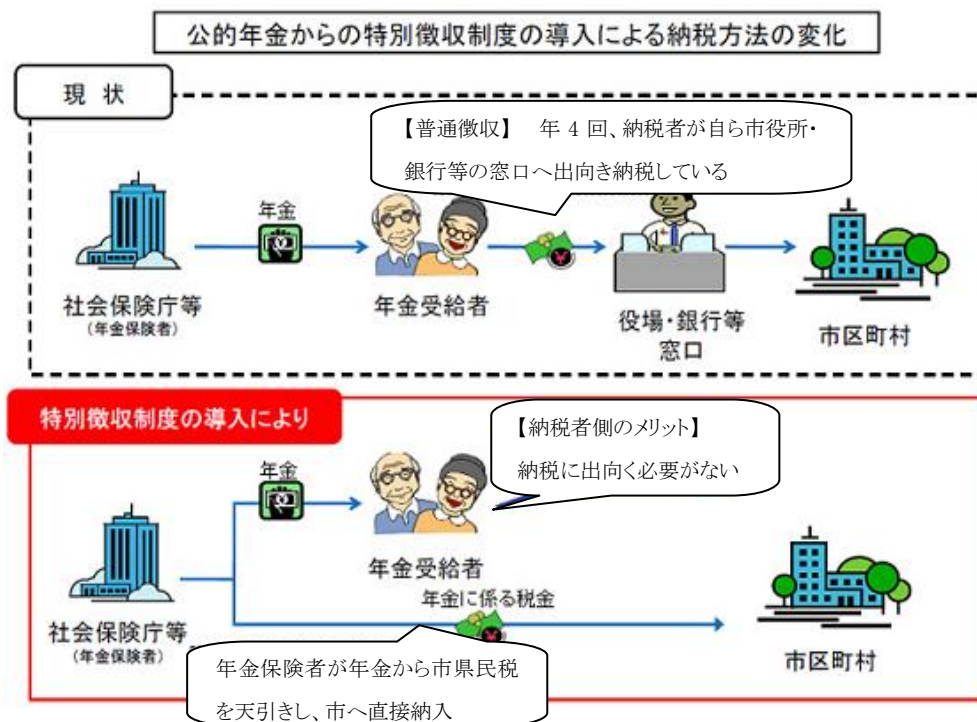
(1) 特別徴収義務者（社会保険庁等）と各自治体とのデータ（公的年金支払報告書等）の授受の經由機関である（社）地方税電子化協議会への分担金の支出

- 年金特徴經由機関業務システム運用費分担金
- 年金特徴經由機関業務事務運営費分担金

(2) 特別徴収にかかる基幹税システムの改修

- 異動処理、収納連携等

3. 予算額 15,217千円 (前年度 0千円) (財源内訳) 一般財源 15,217千円



担当 税務理財部市民税課
森
TEL 354-8132

申告・納税電子化事業

1. 目的

平成20年12月から導入したエルタックス（地方税電子申告）において、個人市県民税の公的年金からの特別徴収の運用に加え、個人市県民税（給与支払報告書）、法人市民税及び固定資産税（償却資産）について、電子申告での受付を行っている。

本年度は、給与支払報告書の電子申告について、本市の基幹税システムとのデータ連携を図ることにより、地方税の電子化を推進する。

2. 内容

(1) エルタックスの利用にかかる会費及び利用料の支出

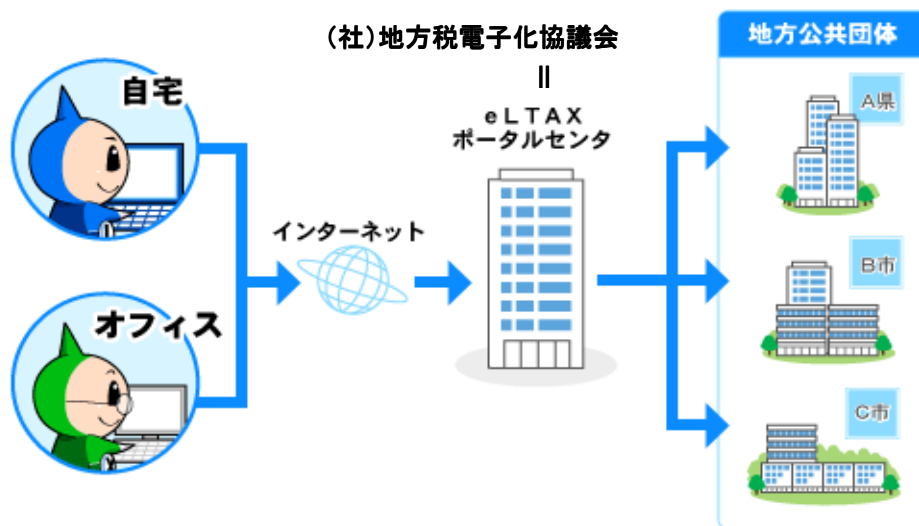
- エルタックス会費（(社)地方税電子化協議会）
- エルタックス審査システム利用料（ASP事業者）

ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）事業者：

エルタックスを利用するためには、審査システムが必要であるが、審査システムについて利用サービスを各自治体に提供する事業者

(2) 個人市県民税にかかる給与支払報告書データの正確かつ効率的な処理を目的としたデータ連携のための基幹税システムの改修

3. 予算額 11,845千円 (財源内訳) 一般財源 11,845千円
(前年度 0千円)



担当 税務理財部市民税課
森
TEL 354-8132

軽自動車税のコンビニ収納

1. 目的

市民の利便性の向上を図るとともに、納期内納付の促進を目指す。

2. 内容

平成21年度から、軽自動車税について、国民健康保険料とともにコンビニエンス・ストアにおける納付の取扱いを開始することによって、曜日・時間に限定されることなく、365日・24時間、納付を可能にする。

〔軽自動車税の賦課期日〕 4月1日

〔軽自動車税の納期〕 5月1日～5月31日

〔対象のコンビニチェーン〕

セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクス、ミニストップ、ココストア等、全15社

3. 予算額 1,946千円 (財源内訳) 一般財源 1,946千円

担当 税務理財部納税課
水谷
TEL 354-8131

市民文化 部

新年度予算における基本的な方針

個性豊かで、活力のある地域社会の実現を目指し、市民がその個性と能力を十分発揮できるような環境づくりを推進するとともに、市民文化の向上を目指した様々な取り組みや、生涯学習支援を行っていく。

地区市民センターについては、市民が主役のまちづくりを目指し、効率的な運営を図りながら、地域社会づくりの拠点としてより一層地域に根ざした施設となるよう取り組んでいく。

市民による様々な地域活動に対する支援制度に関しては、市民活動団体の活性化、より一層地域に根ざした内容となるよう検討・協議を進めていく。

また、市民が主体的に文化活動や生涯学習活動がしやすいよう、新たに四日市市文化会館及び茶室の指定管理者に指定された財団法人四日市市まちづくり振興事業団の文化に関わる自主事業の充実や、市民大学（一般クラス・熟年クラス）や生涯学習情報の提供内容の充実などにも積極的に取り組んでいく。

併せて男女共同参画社会の実現に向けて、市民により身近なところで、全市的に男女共同参画意識が広がるよう、市民、地域団体、事業者と協力・連携して、施策の展開を図っていく。

さらに、外国人市民と共に暮らす地域づくりを目指して、外国人集住地区における課題解決を地域団体とともに進め、これらの取り組みを全市域における多文化共生社会の実現につなげていく。

1. 地域社会づくりについて

市民主体の地域社会づくりを推進し、市民一人一人の地域活動への参加を促進するため、地域社会づくり総合事業費補助金をはじめ、市民活動団体の発掘・育成のための「個性あるまちづくり支援事業」、「四日市市民活動ファンド」などにより積極的に市民活動を支援する。

また、市民協働の推進のため、庁内組織である「市民協働推進会議」により、市民活動団体の一層の活性化を図るなど全庁的な視点で市民協働への取り組みを強化するとともに、市職員をはじめ市民の市民協働に関する意識のより一層の高揚に努める。

【主な事業】

市民活動支援事業

①個性あるまちづくり支援事業	1 5, 1 3 4 千円
②地域再生計画推進事業	3, 5 0 0 千円

地域社会づくり総合事業費補助金	78,950千円
地区市民センター住民運営推進事業	66,363千円
集会所建設費補助金(耐震改修分含む)	32,000千円

2. 安全なまちづくりについて

子どもの見守り活動をはじめ、住民による自主防犯活動が活発化する中、団体間のネットワーク組織として自主防犯活動団体と3警察署により「四日市市地域防犯協議会」を組織し、情報共有を図りながら犯罪抑止に向けた活動を行っている。本年度も引き続き、「個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）」の積極的な活用を呼びかけるなどして、自主防犯活動団体の拡充を図り、全市的な視点から安全・安心なまちづくりを推進する。

【主な事業】

個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）	5,000千円 (15,134千円のうち再掲)
繁華街等防犯対策活動補助金	300千円
防犯外灯新設維持費補助金	79,033千円

3. 文化振興について

平成16年度策定の「四日市市文化振興ビジョン」を受けた実施計画を具体的に進める会議（「四日市市文化行政総合企画調整会議」・「四日市市文化振興に関する市民会議」）を有効に開催し、文化行政の全庁的な展開を図る。また、文化振興基金を活用し、民間の文化施設で行われる優れた芸術・文化事業に対する支援や、市民が開催する全市文化事業・地区文化事業に対する支援を行う。さらに、市民の文化活動の中心でもある文化会館については、老朽化設備の更新工事等を計画的に行いながら、市民により安心して快適に使っていただけるような環境整備を行う。また、新たに平成21年度から指定管理者として指定された財団法人四日市市まちづくり振興事業団による文化会館・茶室の管理運営について、モニタリングを行いながらサービスの向上に努める。

【主な事業】 文化会館施設整備事業	70,980千円
文化会館等管理運営委託費	221,081千円

4. 生涯学習活動支援について

市民の学習機会の提供として市民大学を市民企画も含めて開催するほか、民間を含めた各種学習情報のホームページでの掲載など、生涯学習活動支援を積極的に行う。

また、各地区市民センター講座については、地域に身近な課題を把握し、地域住民のニーズに対応できるように、住民との協働による企画運営をさらに進めていく。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	3,264千円
	市民大学熟年クラス経費	2,943千円
	地区市民センター生涯学習事業費	5,682千円

5. 広聴事業について

「市政アンケート」を年1回実施し、各部局での施策に反映させるため、市政全般に対する市民の意識や要望などを聴く。また、パソコンや携帯電話の電子メールを利用した「市政ごいけんぼん」では、双方向性を生かし、的確な施策展開を目指し、各部局の個別事業に対する市民の意見を迅速に把握する。

【主な事業】	市政アンケート経費	1,985千円
	市政ごいけんぼん経費	1,192千円

6. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題や消費生活トラブルに関する相談のほか、行政に対する意見・苦情を聞き取り、解決への支援を目指す。弁護士など専門家による特別市民相談の体制充実も図っていく。また、「消費生活出前講座・ワンポイント講座」を実施するなど、消費者被害の未然防止にも努める。

【主な事業】	市民相談室運営費	2,198千円
	消費生活相談事業費	3,379千円

7. 窓口サービスの効率化について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍や住民票の証明発行などの窓口業務について、個人情報データを正確かつ安全に管理し、市民がより安心して利用できる、市民の視点に立ったサービスを提供しつつ、効率的な窓口業務を行う。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務費	116,217千円
	市民窓口サービスセンター運営費	4,139千円

8. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会・市民さんかく会議・男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、庁内外において男女共同参画施策を展開する。市民協働の観点からさんかくカレッジを市民グループへの委託により事業を進めるとともに、男女共同参画アドバイザー（市民ボランティア）等による市民啓発や結婚、出産等で離職した女性への再就職支援（セミナーの開催）、男性向け講座等も実施する。

庁内においては、審議会等女性委員登用率の改善を図る。

【主な事業】	男女共同参画推進事業	2,956千円
	男女共同参画センター事業	8,507千円

9. 多文化共生社会づくりの推進について

日本で生活する上で必要な行政情報等を外国人市民に正確に伝えるため、引き続き生活オリエンテーションを実施する。外国人集住地区では、指定管理者として指定した四日市市まちづくり振興事業団による国際共生サロンでの共生推進事業、及び地域団体と連携した外国人市民向け防災啓発事業に取り組む。

また、四日市国際交流センターや市民団体と連携し、日本語教室や生活相談等を実施するとともに、外国人集住都市会議に参加して、同様の課題を抱える都市間での情報交換を行い、法制度の改正が必要な課題については国、県、経済界等へ提言、要望などの働きかけを行っていく。

【主な事業】	多文化共生推進事業	10,032千円
	国際共生サロン管理運営委託	10,290千円
	四日市市国際化事業補助金	14,500千円

10. あさけプラザ事業について

年間約32万人の施設利用者がある当館は、開館後24年が経過しており、住民が安全で安心して、また快適に利用できるようホール舞台機構（手動の吊物関係）の改修工事等を行う。

広域利用の複合施設として、より多くの住民に利用していただけるよう施設管理及び施設運営の見直しを引続き行う。

また、自主事業の見直しにより内容の充実を図るとともに、当館の積極的なPRにも努める。

【主な事業】	施設管理運営費	70,646千円
	施設整備事業費	31,000千円
	図書資料整備費	1,050千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

市民活動支援事業

1. 目的

「市民主体のまちづくり」を推進するため、市民が自主的に取り組む公益活動を積極的に支援し、地域コミュニティのさらなる充実を目指す。

2. 内容

【個性あるまちづくり支援事業】

市民による先駆的な夢のある公益活動を支援することにより、市民の自主的な取り組みによる自立した地域社会づくりを推進し、活力ある四日市を創ることを目的として助成を行う。

助成総額 ・ 一般枠 9,847 千円
・ 防犯活動枠（自主防犯活動、子ども見守り活動）
5,000 千円

【四日市市民活動ファンドへの出捐】

市民活動を支援するために設立された市民活動ファンドへ寄附金分の出捐を行う。
他の支援制度の対象には該当しないが、社会貢献が十分認められるような、より公益性が高い市民活動を対象に助成を行う。

出捐金額 500 千円

【地域再生計画推進事業】

地域再生法に基づく「市民活動による地域再生計画」に位置付け、実施した事業について、さらに市民活動団体の育成をおこなっていく観点から市独自の支援を行う。

助成総額 3,500 千円

3. 予算額 19,134 千円 (財源内訳) その他特財 500 千円
(前年度 27,577 千円) 一般財源 18,634 千円

担当 市民文化部市民生活課
人見・岸田
TEL 354-8179

安全なまちづくり(防犯関係)推進事業

1. 目的

市民を取り巻く街頭犯罪などの県内における刑法犯認知件数は、平成14年をピークに減少傾向にあるものの、依然多くの犯罪が発生している。そのような状況の中、本市においては、近年、自主防犯に対する活動が活発化しており、引き続き住民による防犯活動を積極的に支援することで、安全なまちづくりを推進する。

2. 内容

①「個性あるまちづくり支援事業」の特別枠である「防犯活動枠」

当初予算額 5,000 千円

引き続き防犯活動枠を設定して、自主防犯活動に取り組む団体の発掘・育成を図る。

○防犯活動枠（自主防犯活動・子ども見守り活動）

補助金額	立ち上げ期	: 100 千円限度	補助率	10/10
	中級編	: 750 千円限度	補助率	2/3～9/10
	上級編（4年目以降）	: 300 千円限度	補助率	3/5

※ 同制度に応募のあった自主防犯活動団体と3警察署で組織する「四日市市地域防犯協議会」（現19団体）のさまざまな活動を通じて、広く防犯活動の啓発を図るとともに、同協議会への参加団体の拡大に努める。



<青パト車による防犯啓発活動>

②繁華街等防犯対策活動補助金

当初予算額 300 千円

街頭犯罪や客引き等の迷惑行為が多発化する市内の繁華街等において、良好な環境を確保するための地域住民が取り組む活動などに対して支援を行う。

○限度額	: 500 千円（3年目まで）	補助率	: 9/10
	300 千円（4年目以降）	補助率	: 3/5

③防犯外灯新設維持費補助金

当初予算額 79,033 千円

○補助率	電灯料: 75%	設置・修繕	: 1/2（限度額 14,000 円/基）
------	----------	-------	-----------------------

3. 予算額 84,333 千円
(前年度 83,486 千円)

(財源内訳) 一般財源 84,333 千円

担当 市民文化部市民生活課
人見・細井
TEL 354-8179

市民相談・消費生活相談事業

1. 目的

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題や消費生活トラブルに関する相談のほか、市政等行政に対する意見・苦情等を聞き取り、迅速な問題解決への支援を行う。

2. 内容

○市民相談室運営費（予算額 2,198 千円）

市民相談では、民事や家事、行政への意見等を聞き取り問題解決への支援を行う。また、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・公証人・行政相談員による特別相談を定期的実施する。多重債務者問題については、市民相談員が債務にかかる状況等を聞き取り、解決に向けて弁護士・司法書士の特別相談を案内するほか、市の関係機関や相談窓口、国・県と連携し、20年度からは三重県多重債務者相談連携システムを利用して、各法律専門家事務所を直接案内するなど、早期発見・解決に努めている。

（参考）平成19年度相談実績 4,357件

うち行政（市・県・国等）に関する相談	1,736件
民事（金銭貸借、土地家屋等）	1,466件
家事（離婚、相続、遺言等）	1,155件
特別相談（弁護士、司法書士他）	741件

○消費生活相談事業費（予算額 3,379 千円）

消費生活相談では、消費生活のトラブル等に関する相談に対して専門の消費生活相談員が迅速に対応するほか、専門相談員を派遣する出前講座や職員によるワンポイント講座を各地区で開催し、積極的な啓発活動を行う。

（参考）平成19年度相談実績 2,149件

うち通信販売（架空・不当請求を含む）893件、
店舗販売 389件、訪問販売 211件、電話勧誘 106件 ほか

3. 予算額 5,577 千円（前年度 5,565 千円）
（財源内訳）一般財源 5,577 千円

担当 市民文化部市民生活課
広聴・消費生活相談室
福島・多賀
TEL 354-8147

なやプラザ(市民活動センター・なや学習センター)の運営

1. 目的

市民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動の促進を目的とする「市民活動センター」と市民の生涯学習活動を支援し、まちづくり活動を促進することを目的とする「なや学習センター」を、「なやプラザ」として指定管理者により一体的に運用し、より市民活動団体等のニーズに即応した管理、運営を行う。

2. 内容

平成21年度から、5年間の指定管理を受けた四日市市なやプラザ運営委員会(3 NPO団体による共同体 代表者:(特)市民社会研究所)と連携を図りながら、市民活動のより一層の活性化に努めていく。

(1) 業務内容

- ①施設の管理運営
- ②情報の収集・提供・交換
- ③講座の企画・実施

(2) 平成20年度利用実績(4月～11月)

人数 35,737人 (前年同期 36,599人)
貸室等件数 2,719件 (前年同期 2,727件)

3. 予算額 13,400千円
(前年度 12,000千円)

(財源内訳) 一般財源 13,400千円



担当 市民文化部市民生活課
人見・岡本
TEL 354-8179

<なやプラザを利用している市民活動の様子>

文化行政推進事業

1. 目的

本市の文化行政を推進することを目的に、文化の振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）に基づく「四日市市文化振興実施計画」を推進するため、市民が参加し協議する市民会議等を開催し、文化行政を市全体で総合的に取り組むよう具体的に進める。

2. 内容

平成14年6月、議員提案により「四日市市文化振興条例」が制定され、その条例に基づく「四日市市文化振興審議会」と、文化振興に関する基本計画である「文化振興ビジョン」に基づく「四日市市文化振興実施計画」を具体的に進める庁内会議「四日市市文化行政総合企画調整会議」及び市民会議「四日市市文化振興に関する市民会議」、この3会議を効果的に開催し、狭い領域での文化行政という意識を払拭し、文化の視点をいれた行政各課の取り組みの促進と、市民が主体となった文化活動が展開しやすく、文化活動でまちの誇りを創出するという市民意識の高揚につなげる。

平成20年度実績（予定含む）

四日市市文化振興審議会	第21・22回開催	
四日市市文化行政総合企画調整会議	会議開催	2回
四日市市文化振興に関する市民会議	会議開催	3回

3. 予算額 334 千円 (財源内訳) 一般財源 334 千円
(前年度 337 千円)



市民会議「四日市の文化再発見ツアー」

担当 市民文化部文化国際課
秦・廣瀬
TEL 354-8239

文化振興基金活用事業補助金

1. 目的

市民文化の振興を図るため昭和60年から積み立て目標額2億円に達した文化振興基金を活用して、市民が主体的に行う文化的事業に対して支援する。

2. 内容

○ 文化振興事業支援補助金

全市的事业 20万円上限 補助対象経費の1/2以内
平成20年度実績 1団体 計 200千円 (交付決定額)

地区事業 10万円上限 補助対象経費の1/2以内
平成20年度実績 6団体 計 525千円 (交付決定額)

○ 民間文化施設文化活動支援事業

民間の優れた文化施設を利用して行われる文化事業に対して補助金を交付し、入場料の低廉化を図り優れた芸術文化活動に触れる機会を市民に提供するとともに、文化施設が都市の貴重な文化的資産としての活用に資するようにしていく。
平成20年度実績見込 2団体 計 360千円 (交付決定額)

3. 予算額	3,339千円	(財源内訳)	その他特財	3,300千円
(前年度)	3,439千円)		一般財源	39千円

担当 市民文化部文化国際課
秦・廣瀬
TEL 354-8239

文化会館関連事業

1. 目的

開館以来26年、市民の文化活動の拠点として高い稼働率を保ちながら市民の利用に供し、また優れた芸術文化事業を行なっている文化会館の老朽化に伴い、施設管理上の安全面を確保し利用者に支障や損害を与えることの無いよう、設備の更新・改修を計画的に行なう。また、平成21年度から文化会館及び茶室泗翠庵の指定管理者として指定された財団法人四日市市まちづくり振興事業団によって、さらに管理の水準の向上に努める。

2. 内容

○ 文化会館施設整備事業費 (70,980 千円)

第1ホールの舞台吊り物装置の更新を行なうとともに、バレエマットなど安全な利用に支障を来たす可能性のある備品についても更新していく。

○ 文化会館等管理運営委託費等 (221,081 千円)

ホール、展示室、会議室をはじめとする貸館業務について、市民文化活動の拠点として効率的効果的に運営するとともに、ホール事業やアウトリーチ事業など、財団法人四日市市まちづくり振興事業団ならではのノウハウを活かして広い視野にたった事業展開を促すことで、本指定管理者のメリットを市民に享受してもらうべく取り組む。

3. 予算額 292,061 千円
(前年度 424,708 千円)

(財源内訳) 市債 59,800 千円
一般財源 232,261 千円



第1ホール事業「第九コンサート」

担当 市民文化部文化国際課
小宮・廣瀬
TEL 354-8239

生涯学習支援事業

1. 目的

市民がライフステージに応じた生涯学習活動を行えるよう支援するとともに、市民の学習意欲が主体的な市民活動に繋がるよう市民大学講座や学習情報提供事業を実施する。

2. 主な内容

○市民大学一般クラスは、「四日市」の再発見、芸術・文化、人権、自由設定のジャンルを設けて公募する市民団体の企画運営コースに加え、三重大学及び四日市大学に委託する講座を含め、8コースの設定を予定する。

予算額 3,264 千円

○市民大学熟年クラスは、高齢者が生活に生きがいを持ち、社会参加の意欲を高めるための学習機会として開設する。教養課程修了後、さらに受講を希望する方のための専攻課程では、修了後も地域で積極的に活動できるよう、ボランティア活動や市民活動に関する講座も行う。

予算額 2,943 千円

○生涯学習情報提供事業については、学習情報をホームページ上で提供するとともに、市民ボランティア記者が作成・編集する「まなぼうや通信」をホームページに掲載し、印刷物でも情報提供する。また、この「まなぼうや通信」の発行回数を3回から4回に増やすことにより、市民のボランティア活動の活性化をはかる。

予算額 541 千円

3. 予算額	6,748 千円	(財源内訳)	その他特財	3,850 千円
(前年度)	6,974 千円)		一般財源	2,898 千円

担当 市民文化部文化国際課
廣瀬・小宮
Tel 354-8239

楠 総 合 支 所

新年度予算における基本的な方針

楠総合支所は、新年度、合併後 5 年目を迎えることから、従来から進めてきた「地域住民の不安解消」に努めながらも「地域振興の拠点」として新しいまちづくりを進めるため、引き続き「地域活性化事業」、第 2 次行政経営戦略プランの「楠歴史・文化のまちづくりモデル事業」を進める。

併せて、地域審議会の開催や、地域住民の意識調査を引き続き実施するとともに、地域住民自らが、自立的なまちづくりに向け取組みをはじめた「楠地区まちづくり構想」による活動に対して支援を行っていく。

また、合併に伴う制度統一のための経過措置期間が、21 年度末に終了することから、「総合支所のあり方」について検討を進める。

1. 地域活性化事業について

楠地区の特性を活かした地区住民による自主・自立のまちづくりを進めるため、引き続き楠健康ふれあいフェスタ、運動会、文化祭等の支援を行う。

また、地域審議会では、新市建設計画の進捗状況等の審議を行うほか、引き続き地区懇談会や楠だよりを通じて制度統一への周知を図る。

さらに、まちづくりアンケートは「楠地区まちづくり構想検討会」と協働で実施し、地区住民の意識を把握するとともに構想策定への参考とする。

【主な事業】	地域活動支援事業	2, 285 千円
	地域各種団体支援事業	821 千円
	地域審議会	322 千円
	市民まちづくり事業	194 千円

2. 楠歴史・文化のまちづくりモデル事業について

第 2 次行政経営戦略プランにおける、楠歴史・文化のまちづくりモデル事業は、地区住民主体のまちづくり実現のため、まちづくり計画の策定に向けて引き続き支援を行う。

併せて、まちづくりの拠点施設である楠歴史民俗資料館の充実・活用を図る。

【主な事業】	楠歴史・文化のまちづくりモデル事業	2, 090 千円
	(内訳)	
	・計画策定事業	1, 550 千円
	・活性化事業	540 千円

楠歴史・文化のまちづくりモデル事業

1. 目的

住民と行政が協働して、歴史、伝統、文化そして自然をキーワードに、住民自らが地域を再発見し、楠地区の特性を生かしつつ、「住んでよかった」と実感できる自主・自立のまちづくりを進める。

また、楠歴史民俗資料館を歴史文化の拠点として位置付け、その充実と活用を図る。

2. 内容

① 楠歴史・文化のまちづくり計画策定事業

2ヵ年の事業実施により熟成された、まちづくりへの地域の気運の高まりや人材の育成・発掘をもとに、計画を策定する。

- ・ まちづくりアドバイザーの派遣
- ・ 住民による「楠歴史・文化のまちづくり計画」の策定

② 楠歴史・文化のまちづくり活性化事業

歴史・文化の拠点施設である楠歴史民俗資料館の活用を図るとともに、地域住民によるまちづくり活動の支援を行う。

- ・ 楠歴史民俗資料館夜間特別開館・体験教室の開催
- ・ 地元保存会との共催によるホタル観賞会の実施

3. 予算額 2, 0 9 0 千円 (財源内訳) 一般財源 2, 0 9 0 千円
(前年度 1, 7 0 0 千円)



「楠の宝探しマップづくり」第4回ワークショップ
平成20年7月5日開催

担当 楠総合支所 楠プラザ
中村 匡
TEL 397-2277

福 祉 部

新年度予算における基本的な方針

わが国の高齢化は、少子化とともに世界でも例を見ないスピードで進展しており、人口減少による「超少子高齢社会」へと向かっている。こうした情勢から国は平成 18 年に介護保険の制度改正並びに障害者自立支援法の制定を行い、平成 20 年には後期高齢者医療制度を施行するなど、福祉、介護、医療等の制度を見直し、「持続可能な社会保障制度」の構築を目指している。

本市にあっては、「次世代育成戦略プラン」に基づき、引き続き特別保育、児童虐待防止等の子育て支援策を推進するほか、高齢福祉にあっては、現在策定中の「第 4 次介護保険事業計画・第 5 次高齢者福祉計画」に基き、在宅介護の充実と介護予防に努める。

また、「第 2 次障害者計画」や「後期障害福祉計画」に基づいて障害福祉施策を実施し、障害のある人の地域における自立生活を支援するとともに、「第 2 次地域福祉計画」に基づいて、福祉人材の育成に努め、成年後見制度の取り組みを進める。

1. 児童福祉について

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るために策定した「次世代育成戦略プラン」に掲げる様々な子育て支援事業を推進する。

多様な保育サービスを提供するため、休日保育を 1 カ所、特定保育を 3 カ所、一時保育を 2 カ所、それぞれ拡充する。

また、子育て家庭への支援については、子育て支援センター、保育園での「あそぼう会」での相談や情報提供、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行うほか、ファミリー・サポート・センター事業を家庭児童相談室で行うとともに、第 3 子の保育料助成や子育て支援拠点の整備等について検討を行う。

子どもの虐待防止ネットワーク事業において、早期発見、早期対応、未然防止に向けて、関係機関との連携による定期的な会議や、ケース検討会議を開催して、必要な個別、具体の支援に結びつける。

公立保育園の民営化については、平成 19 年度移管の河原田、水沢、西浦保育園及び 20 年度移管の高花平、三重保育園で移管先法人が行う施設整備について、一定の範囲内で助成する。

発達の遅れのある子どもへの対応については、あけぼの学園において引き続き療育を行うとともに、今後のあけぼの学園のあり方について検討を進める。

母子家庭の生活の安定と自立を促すため、母子生活支援施設の機能を活用し、保育サービスを提供する。引き続き母子家庭自立支援給付金事業を実施するとともに、母子自立支援プログラムの策定を行い、公共職業安定所（ハローワーク）と連携して母子家庭の就労による自立の支援を行う。

【主な事業】 民間保育所延長保育事業	134,884千円
民間保育所乳児保育促進事業	18,800千円
民間保育所特定保育事業	28,004千円
民間保育所一時保育事業	19,444千円
民間保育所休日保育事業	12,552千円
地域子育て支援拠点事業費補助金	30,346千円
ファミリー・サポート・センター事業	10,231千円
児童虐待防止対策事業	1,338千円
保育所民営化推進事業	100,392千円
母子家庭自立支援給付金事業	4,108千円
乳幼児医療費助成事業	424,789千円
児童手当	2,465,570千円
不妊治療医療費助成事業	26,300千円

2. 介護保険事業・高齢者施策について

本市の65歳以上人口は、平成20年10月1日現在、62,918人で、高齢化率は20.0%と年々高齢化が進んでおり、高齢者が住み慣れた地域で暮し続けられる「安心と生きがいある長寿社会」を実現するため、第4次介護保険事業計画・第5次高齢者福祉計画に基づき高齢者施策を推進する。

その具体的な施策として、25カ所の在宅介護支援センターに高齢者相談事業を引き続き委託するとともに、在宅介護支援センターに併設して整備を促進しているショートステイ施設を活用し、在宅介護を支援する。

さらに、地域の中核機関である3カ所の地域包括支援センターにおいて、地域のケアマネジャーが抱える困難事例の相談・支援、高齢者の権利擁護に関する事業（高齢者虐待、成年後見制度利用支援）などを行うとともに、在宅介護支援センターとの連携を強化すべく各地域包括支援センターに主任ケアマネジャー1人を増員し、重層的なサービスネットワークを充実していく。

また、一人暮らし高齢者の見守り支援としての訪問給食事業、家族介護の負担軽減を目的としたおむつ支援事業や、要支援、要介護状態になることや重度化の予防・改善を図るための介護予防事業を継続するとともに、今後一層必要性が高まる高齢者虐待防止推進事業を推進していく。

【主な事業】 在宅介護支援センター事業	108,174千円
訪問給食事業	47,766千円
おむつ支援事業	77,293千円
地域包括支援センター事業	155,932千円
介護予防事業	288,231千円
民間社会福祉施設等整備助成事業（高齢福祉分）	69,805千円
高齢者虐待防止推進事業	1,219千円

3. 障害者福祉について

障害者自立支援法に基づき、障害のある人が地域で安心して自立生活・社会生活を営めるよう、各種施策を実施する。

障害福祉サービスとして、介護給付、訓練等給付のほか、自立支援医療費及び補装具費などの自立支援給付事業について、その利用の状況や各施設の新体系への移行の動向を把握し、安定した障害福祉サービス提供体制の整備に努める。

また、地域生活支援事業については、障害のある人の地域での生活を支援するため、相談支援事業の強化に努めるとともに、日常生活用具等給付事業や移動支援事業、日中一時支援事業などの各事業の充実を図る。

【主な事業】	居宅介護等事業	1 6 1, 0 0 0 千円
	生活介護事業	5 4 2, 2 4 8 千円
	旧法施設支援事業	6 2 0, 4 0 0 千円
	自立支援医療費	2 3 5, 9 8 2 千円
	補装具費	5 9, 8 0 0 千円
	相談支援事業	3 6, 3 0 8 千円
	日常生活用具等給付事業	3 8, 9 0 0 千円
	移動支援事業費	2 6, 9 9 7 千円
	日中一時支援事業	1 8, 1 0 0 千円

4. 生活保護について

保護の状況は、平成7年（4.6%、受給世帯 940 世帯）から毎年増加傾向にあり、平成20年11月末現在で、保護率は9.4%、受給世帯は2,044世帯に達している。これは、高齢者世帯や母子世帯など経済的基盤の脆弱な世帯の増加、正規雇用の減少による不安定就労者の増加、家族意識の変化など様々な社会的要因が複合していることが考えられる。

また、世界的な金融危機の影響から国内の景気も底が見えない状況にあり、今後さらに生活困窮の問題を抱えた相談者の増加が見込まれることから、引き続き生活支援専門相談員を配置してきめ細かい相談を行うとともに、必要な人に生活保護の適用につなげるなど、増大する生活困窮者の需要に応じ適正な支援を行う。

【主な事業】	扶助費	5, 0 3 3, 0 0 0 千円
	法外扶助費	2 5, 1 1 0 千円
	生活支援専門相談事業費	3, 1 7 6 千円

特別保育事業の充実

1. 目的

「四日市市次世代育成戦略プラン」に基づき、多様な保育サービスのより一層の充実を行い、子どもを「生み」「育てる」ためのより良い環境づくりを目指す。

2. 内容

- (1) 休日保育実施施設の拡充 (H20 1園 ⇒ H21 2園)
河原田保育園 (H19 民営化)
- (2) 一時保育実施施設の拡充 (H20 13園 ⇒ H21 15園)
高花平、三重保育園 (H20 民営化)
- (3) 特定保育実施施設の拡充 (H20 10園 ⇒ H21 13園)
水沢保育園 (H19 民営化)、高花平、三重保育園 (H20 民営化)

3. 予算額

(1) 休日保育	12,552千円	(財源内訳)	県支出金	1,325千円
	(前年度8,052千円)		その他	852千円
			一般財源	10,375千円
(2) 一時保育	19,444千円	(財源内訳)	県支出金	9,070千円
	(前年度18,040千円)		一般財源	10,374千円
(3) 特定保育	28,004千円	(財源内訳)	県支出金	3,420千円
	(前年度24,786千円)		その他	4,789千円
			一般財源	19,795千円

担当 福祉部 児童福祉課
伊藤
TEL 354-8173

保育所民営化推進事業

1. 目的

平成19、20年度の2ヵ年に民営化した5園において延長保育、乳児保育、一時保育や特定保育のほか、新たに休日保育を実施するなど特別保育と子育て支援の拡充を図る。

2. 内容

移管後の施設改修、修繕費等経費助成〔予算額 100,392千円〕

(施設整備99,342千円、第三者評価1,050千円)

民営化した河原田、水沢、西浦、高花平、三重保育園について、移管後3年に限り、移管先法人が行う施設の整備等について、3千万円を限度として必要な経費を助成する。

3. 予算額	100,392千円	(財源内訳)	国庫支出金	28,549千円
(前年度	65,700千円)		一般財源	71,843千円



担当 福祉部 児童福祉課
伊藤
TEL 354-8173

地域包括支援センター事業

1. 目的

平成18年4月の介護保険制度改正において、創設された機関で、高齢者が住みなれた地域で生活を継続できるよう、元気な時から要介護状態になっても高齢者のニーズや状態に応じて必要なサービスを切れ目なく提供する。

2. 内容

市域を北・中・南の3地域に分割し、それぞれ包括支援センターを設置してきた。

具体的な業務は、①地域のケアマネジャーや在宅介護支援センターがかかえる困難事例の相談・支援、②高齢者の権利擁護に関する事業（高齢者虐待、成年後見制度利用支援など）、③特定高齢者（要介護状態になる可能性が高い高齢者）に対するケアプランの作成、④要支援1及び要支援2のケアプランの作成、などがある。

各地域包括支援センターでは、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等の専門職種を配置してきた。しかし、機関創設後3年が経過し、業務の強化及び市内25カ所の在宅介護支援センターとの連携強化を図るため、各地域包括支援センターに主任ケアマネジャーを1名増員する。

3. 予算額	155,932千円	(財源内訳)	国庫支出金	62,373千円
(前年度)	134,940千円)		県支出金	31,186千円
			その他特財	31,188千円
			一般財源	31,185千円

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
服部・山下
TEL 354-8425

相談支援事業費

1. 目的

障害のある人が、地域で安心して自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害のある人や家族等からの相談に応じ、必要な支援を行う。

2. 内容

専門性の高い相談支援事業を社会福祉法人等に委託して実施する。

また、相談支援事業者と関係機関の調整の場として設置した四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会において、地域における障害福祉サービス提供システムの充実を検討していくとともに、相談体制のさらなる充実を図る。

身体障害：障害者自立生活支援センターかがやき（1市3町より委託）
（社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会）

知的障害：聖母の家「陽だまり」（三重県・1市3町より委託）
（社会福祉法人 聖母の家）

精神障害：ソシオ（三重県・1市3町より委託）
（医療法人 居仁会）

HANA（三重県・1市3町より委託）
（社会福祉法人 四季の里）

その他1市3町以外の国又は三重県からの委託事業

障害者就業・生活支援センター「プラウ」（国・三重県より委託）
（社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会）

知的障害者相談：あさけ学園（三重県より委託）
（社会福祉法人 檜の里）

※四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会

1市3町及び相談支援事業者等で構成しており、障害当事者、障害施設関係者等の参画を得て、雇用部会・知的障害部会・精神障害部会を設置し、障害福祉サービスのあり方等について協議を行っている。

3. 予算額 36,308千円 (財源内訳) 国・県支出金 13,615千円
(前年度 36,390千円) 一般財源 22,693千円

担当 障害福祉課
服部
TEL 354-8527

健 康 部

新年度予算における基本的な方針

本市は平成 20 年度に保健所政令市に移行し、より市民に身近な保健所として機能することで市民サービスの向上に努めている。21 年度において、本市の健康づくり計画である「四日市健康づくり 21」について、現状を踏まえ、健康づくりから危機管理体制までの総合的な施策を体系化した計画への見直しを行う。

また、保健所機能がより円滑・迅速に発揮でき、保健・福祉・医療の一層の連携を図り、市民サービスが向上できる体制を整備するため、三重県四日市庁舎にある保健所の事務部門を総合会館へ移転し、その機能を一元化する。

事業としては、在宅医療を始めとした地域医療の重要性が益々高まっており、市民誰もが安心して暮らせる地域医療を提供できる体制の構築に向け、地域医療や在宅医療における課題や方策について検討を行う。

保健事業についても各種検診や予防接種事業はもとより、未熟児訪問、育児相談等、市民に密着した事業の充実を図る。感染症予防や精神保健事業については保健所として着実な事業展開に努める。

国民健康保険については、保険料収納課を設置し、収納事務をきめ細やかに実施する。また、収納率の向上を目指して平成 21 年度からコンビニ収納を実施することにより累積滞納額の削減に努める。医療費抑制のため平成 20 年度から保険者に義務付けられた特定健康診査と特定保健指導についても、受診率・実施率の向上に取り組む。

1. 保健、医療について

母子保健事業は、従来の疾病、発達障害の早期発見のための妊産婦乳幼児健康診査、未熟児訪問、育児学級、相談等に加え、平成 21 年度より妊婦健康診査の公費負担の回数を拡大するとともに、県外で妊婦健康診査を受けた市民も対象とする。また、生後 4 ヶ月までの乳児がいる全家庭への訪問「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を新たに実施するなど、母子保健の充実に努める。

成人保健事業では、各種検診について広報や個人通知等による受診勧奨を行うとともに、集団検診における自己負担金の引き下げによる受診者の負担軽減や乳がん検診におけるエコー検査の導入等、実施方法の見直しや検診内容の充実によって受診率の向上を図り、疾病の予防、早期発見、早期治療に結びつけることで、市民の健康保持・増進に努める。

健康づくり推進事業は、市民自らが健康づくりを行うという意識の浸透や、実践活動の拡大を図るため、健康ボランティアの組織化及び相互連携を推進する。また、食と生活習慣病予防事業、介護予防事業のコラボレーションを図り、健康づくり活動の発展に努める。

【主な事業】	㊦ こんにちは赤ちゃん訪問事業	7, 852 千円
	検診事業	222, 027 千円
	妊産婦乳幼児健康診査事業	298, 677 千円

市民健康づくり事業	7, 485千円
予防接種事業	440, 865千円

また、保健所政令市となり保健・医療・福祉の総合的・一体的な施策の展開が可能となったことから、在宅医療を中心とした地域完結型医療を目指し、切れ目のないサービスを提供できる体制の構築に向けた検討を引き続き行う。

【主な事業】 地域医療推進事業費	1, 337千円
------------------	----------

現在、総合会館と三重県四日市庁舎に分散している保健所の事務部門を総合会館へ移転・集約し、保健所機能がより円滑、迅速に行える体制を整備することで、市民サービスの向上及び効率的な事業展開を図る。

【主な事業】 ㊦保健所移設事業費	34, 900千円
------------------	-----------

本市の健康づくり計画である「四日市健康づくり21」を、国の医療制度改革や「健康増進法」の改正及び本市の保健所政令市移行等の現状を踏まえて、健康づくりから危機管理体制までの総合的な施策を体系化した計画への見直しを行う。

安全で適正な医療提供体制については、病院、診療所が医療法及び関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否かについて立ち入り検査を行う。それによって、病院、診療所が科学的で適正な医療を行う場所にふさわしいものとし、安全で適正な医療提供体制の確保を目指す。

【主な事業】 医療法等施行事務費	476千円
------------------	-------

2. 保健予防事業について

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき、患者の人権を尊重し、感染症の発生予防及び患者の医療に関して迅速かつ的確な対応を行い、感染症のまん延を防止する。

新型インフルエンザ対策については、1月に策定した行動計画に基づき、感染の予防・拡大防止に努めるとともに、市民への周知等による体制の充実を図る。

また、エイズのまん延防止及び偏見の解消を図るため、エイズに対する正しい知識の普及啓発を行うとともに、電話・面接によるエイズ相談やHIV抗体検査を毎週火曜日に実施し、二次感染の防止に努める。

結核対策については、感染、発病の予防及び結核のまん延を防止するため、患者管理の徹底、接触者検診の実施を行うとともに病院との連携により服薬困難な患者への服薬継続支援（DOTS）を行う。

【主な事業】 防疫対策事業	3, 979千円
感染症原因分析事業	3, 724千円
エイズ等対策事業	3, 744千円
結核対策事業	3, 417千円
結核医療費	19, 068千円

社会問題化している精神保健（自殺、幼児虐待、認知症等）において、障害福祉課と保健所に分離されている窓口を集約化・充実することにより、医療との関係が強い保健所におけるより専門的な立場からの初期対応を行う。

また、地域の精神保健福祉対策を総合的かつ効果的に促進するため、精神保健福祉関係者で構成する「三泗地域精神保健福祉連絡会」を開催し、関係機関の連携強化、協議を行う。

なお、普及啓発事業として精神保健の向上及び精神障害への理解を深めるため、市民を対象とした精神保健福祉講座を開催する。

【主な事業】	精神障害者保健相談指導事業	3, 506千円
	精神保健措置事業	239千円

3. 衛生指導事業について

食の安全対策については、「食品衛生法」に基づき、食品等（添加物、器具および包装容器を含む）の生産、製造加工、輸入、流通、販売などの一連の行程を対象とした監視指導や食品収去検査を実施することにより、食の安全安心を確保する。

【主な事業】	食品衛生監視指導事業費	7, 541千円
--------	-------------	----------

また、薬事関係対策は、「薬事法」に基づき、薬局、薬店及び店舗販売業への監視指導を行うことにより、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器を販売する上での品質・有効性・安全性を確保するとともに、市民の保健衛生上の危害を未然に防止する。また、薬局における調剤業務の安全対策、医薬品販売等の適正販売などを向上させる。

【主な事業】	薬事審査監視指導事業費	2, 215千円
--------	-------------	----------

動物愛護、管理対策については、「狂犬病予防法」や「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、飼い主不明犬の保護抑留などを行うとともに、犬猫の飼い主に対する適正な飼い方の指導や助言を行う。子犬の譲渡事業や出前講座などにより、適切な飼い方などの普及を行う。また、動物取扱業者への立入検査を行うことにより、動物の健康及び安全を保持するとともに、生活環境の保全上の支障が生ずることを防止する。

【主な事業】	動物愛護推進事業	500千円
--------	----------	-------

4. 保険年金事業等について

国民健康保険事業については、保険料収納課を設置し、きめ細やかで丁寧な収納事務を行うことにより、累積滞納額の削減に努める。また、保険料の収納率と納付者の利便性の向上を目指して、平成21年度から軽自動車税とともにコンビニ収納を実施する。

平成20年度に所得割の賦課方式を「本文方式」から「旧ただし書き方式」へ変更したことに伴い実施している、所得割額が増加する世帯に対して行う経過措置を引き続き実施する。

また、平成20年度から医療制度改革により、医療費抑制のために保険者に義務付けられた、新たな生活習慣病対策としての特定健康診査と特定保健指導を継続実施するとともに、これまでの「脳ドック」「歯科検診」等の補助事業も継続する。

【主な事業】	保険者特定健康診査等事業費	319, 876千円
--------	---------------	------------

長寿医療（後期高齢者医療）制度については、平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」が施行されたことを受け、増大する医療費を安定的に賄い保険制

度を堅持し、高齢者が将来にわたり安心して医療を受けられるようにするため、75歳以上の後期高齢者が加入する新たな保険制度として後期高齢者医療制度が開始された。

この保険制度の運営主体は、都道府県単位でその全市町で構成する広域連合（三重県の場合は三重県後期高齢者医療広域連合）であり、財政運営、被保険者の資格認定・管理、被保険証の交付、保険料の賦課、医療費給付などの事務を担う。一方、市町では保険料の徴収や窓口での申請受付などを担うことから、制度の円滑な運営のために法律などで定められた分賦金、負担金、その他の経費などを予算計上する。

【主な事業】 保険料	1, 834, 418千円
療養給付費	1, 714, 677千円
保険基盤安定制度負担金	320, 727千円
後期高齢者医療広域連合運営経費分賦金	117, 549千円
健康診査事業負担金	22, 306千円

(新) こんにちは赤ちゃん訪問事業

1. 目的

四日市市に住所を有する、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスに結びつけることを通じて、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。

2. 内容

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報を提供するとともに育児等に関する不安や悩みを傾聴し、親子の心身の状況や養育環境等を把握する。訪問の結果により、支援が必要な家庭について適切なサービスの提供につなげる。

3. 予算額	7,852千円	(財源内訳)	国庫支出金	3,926千円
			一般財源	3,926千円

担当 健康部 健康企画課
長谷川
Tel 354-8187

検 診 事 業

1. 目 的

健康増進法並びに「がん予防重点健康教育及びがん検診の実施のための指針」に基づき、がんを早期発見し、早期治療に結び付けることを目的に実施する。

2. 内 容

がん検診の受診率向上のために、集団検診における自己負担金の見直しを行い、その軽減を図る。また、最近若い世代において罹患が急増している乳がん検診について、より適切な検査方法の導入の観点から、40歳未満の人及び40歳以上のマンモグラフィー検査(2年に1回実施)の補填策として、エコー検査を実施する。

3. 予算額	222,027千円	(財源内訳)	国庫支出金	7,248千円
(前年度)	197,499千円)		県支出金	4,392千円
			その他特財	58,986千円
			一般財源	151,401千円

担当 健康部 健康企画課
岡本
Tel 354-8282

地域医療推進事業

1. 目的

急速な少子化、高齢化が進展する中、国の医療制度改革とともに市民の医療に対する意識の変化など、医療を取り巻く環境は大きく変化している。

本市においては、年をとっても、病気になっても市民誰もが不安を感じず、心豊かに生活できるまちづくりが求められており、平成20年4月に保健所政令市になったことで、保健・医療・福祉の総合的・一体的な施策の展開が可能となり、在宅医療を中心とした地域医療のあり方等について検討する。

2. 内容

平成20年度に設置した地域医療検討委員会での検討結果を踏まえ、本市の社会資源を活用し、市民誰もが安心して保健、医療、福祉のサービスを切れ目なく適切に受けることができる体制の構築を目指し、在宅医療を中心とした地域医療のあり方や今後の方向性について引き続き検討を行う。

3. 予算額 1, 3 3 7 千円 (財源内訳) 一般財源 1, 3 3 7 千円

担当 健康部 健康企画課
水谷・岩田
Tel 3 5 4 - 8 2 8 1

(新) 保 健 所 移 設 事 業

1. 目 的

現在、総合会館と三重県四日市庁舎に分散している保健所の事務部門を総合会館へ移転・集約することで、情報伝達の迅速性や組織の効率性等の向上を図るとともに、市民により身近な保健所としての体制を整備することにより、市民サービスの向上及び効率的な事業展開に努める。

2. 内 容

情報伝達の迅速性、組織の効率性、部内の意思決定や業務展開の円滑性等を考慮し、三重県四日市庁舎にある新正保健所の事務部門を総合会館へ移設・統合を行う。

移転場所は、現在の健康企画課と同じ総合会館の4階で、事業的に使用頻度の少ない部屋を改修し移転する。

3. 予算額 34,900千円 (財源内訳) 一般財源 34,900千円

担当 健康部 健康企画課
田中
Tel 354-8281

感染症予防対策事業

1. 目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき、患者の人権を尊重し、感染症の発生予防及び患者の医療に関して迅速かつ的確な対応を図るとともに、入院患者の公費負担や感染症予防・蔓延防止のための啓発事業を行う。

2. 内容

感染症発生時には迅速かつ的確に対応を図るとともに、感染症の発生動向の情報を収集、解析し、市民・医療機関等へ情報提供を行い感染症のまん延を防止する。なお、新型インフルエンザ対策については、1月に策定した行動計画に基づき、感染の予防・拡大防止に努めるとともに、市民への周知等による体制の充実を図る。（防疫対策事業 3,979 千円 感染症原因分析事業 3,724 千円）

また、エイズのまん延防止及び偏見の解消を図るため、エイズに対する正しい知識の普及啓発を推進するとともに、電話・面接によるエイズ相談やHIV抗体検査を毎週火曜日に実施し二次感染防止を行う。（エイズ等対策事業 3,744 千円）

結核対策については、感染、発病の予防及び結核のまん延を防止するため、患者管理の徹底、接触者検診の実施を行うとともに病院との連携により服薬困難な患者への服薬継続支援（DOTS）を行う。（結核対策事業 3,417 千円 結核医療費 19,068 千円）

3. 予算額 33,932千円（財源内訳） 国庫支出金 18,813千円
（前年度 24,400千円） 一般財源 15,119千円



<HIV 採血時の様子>

担当：健康部 保健予防課

森下

TEL 352-0595

精神保健対策事業

1. 目的

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」に基づき、適切な医療及び保護を図るとともに、精神障害のある在宅の方及びその家族に対して、社会復帰・社会参加へ促進、精神的健康の保持、増進に努めるための事業を行う。また地域での精神保健の向上及び精神障害への理解を深めるため普及啓発活動を行う。

2. 内容

精神保健措置事業として、自傷他害のおそれがあり、緊急に医療及び保護が必要な精神障害のある方に対して、精神保健福祉法に基づき適切な医療及び保護を図る。(精神保健措置事業 239 千円)

また、地域精神保健福祉対策を総合的かつ効果的に促進するため、関係機関との連携強化、協議を行うとともに、精神障害のある在宅の方及びその家族に対して相談業務や訪問指導の実施、市民を対象とした啓発事業を開催する。(精神障害者保健相談指導事業 3,506 千円)

3. 予算額 3,745 千円 (財源内訳) 一般財源 3,745 千円
(前年度 12,089 千円)

担当：健康部 保健予防課
勝田
TEL 352-0595